新京日日新聞

夕刊

九月四日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)二二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介



# けふの臨時閣議で 對支强硬方針を協議

## 三相會議の決定案を土台に

【東京國通】成都事件に關する帝國政府の斷乎たる態度は三日の外務、陸軍、海軍三相會議で協議の結果、根本方策を決定したので有田外相は四日の定例閣議に於て右方針を說明し各閣僚の諒解を求める筈である、即ち同日の閣議では外相より松村書記官、糟谷重慶領事よりの現地調査報告を披露したる後、寺內陸相、永野海相等よりも夫々陸海軍に到着した調査員の報告を說明し、右三相の現地調査報告を中心に各閣僚意見を交換し更に川越駐支大使に發すべき訓電等に就ても愼重協議を遂げる筈で今や我政府は强硬方針の下に滿を持してゐる

## 三省會議

【東京國通】成都事件に對する根本方針を決定するための三省會議は三日午後三時から外務省に開會、外務上村東亞第一課長、陸軍石本大佐、岡田中佐、海軍本田大佐の諸氏出席、先づ現地調査の報告書を基礎とし事件解決の根本方針に關し協議の結果今回の成都事件は支那全土に漲る侮日排日運動に依るものであつて此の侮日排日運動の裏には國民政府及國民黨の手が動いてゐると傳へられて居り之は必ずしも虛說と言ひ得ないものがある故に日本政府としては斷乎たる決意を以て對支問題の全面的解決を圖るため南京政府に嚴重抗議する、尙ほ成都總領事館は既得權益である故斷乎として開館するに大方針を決定、對支要求事項についても協議を重ね同四時半散會したが更に情報を蒐集して四日も三省會議を續行、要求細目其他を協議する筈である

# 有力團體續々蹶起 政府を激勵す

## 政友も鞭撻策協議

【東京國通】成都事件に關する支那側の不誠意と解決遷延策に日本朝野の輿論は極度に硬化し全國諸團體續々蹶起しつゝあるが、先づ在野有力團體たる明倫會では三日午前本部に緊急理事會を開き成都事件を中心に支那の排日、侮日の暴狀に對する根本對策について協議した結果、强硬なる決議をなし、代表高田、奥平兩中將以下六名は直ちに首相、外相、陸相、海相をそれぞれ訪問決議文を手交し當局を激勵するところあつた、更に政友會に於ても午後二時より本部に總務會並に幹部會を開き黨首腦部全員並に島田農相、野田司法政務次官等出席、成都事件に對する黨の態度に就き協議の結果、成都事件は日支國交上重大問題であるため至急外交部會を招集、之に諮り支那側の責任をあくまで糾彈する一方事件の善處解決に就き政府を鞭撻することになつた

## 支那側の不誠意に 我調査團憤激

【漢口三日發國通】成都事件現地調査の糟谷領事、松村、鈴木兩書記官及渡、中津陸海軍兩武官は調査に對する支那側の不誠意を憤激しつゝ三日午後一時廿分支那側調査員と共に歸漢したが松村、鈴木兩書記官は直ちに南京に向つた

# 南京政府派遣の 成都事件調査員歸る

【漢口三日發國通】今次發生せる成都事件の眞相及び現地調査、出先との打合せのため南京政府より急派された外交部專員葉海甲氏及び日本課長邵玉麟氏は現地の調査報告を裝行、松村書記官と旅客機に同乘三日午後一時二十分歸漢し直ちに同機で南京に向つたが邵氏は語る

余は今次の事件發生に伴ひ外交部の命に依つて現地調査を行ひその實相を極めその善後措置に關し資料を得る程度で自分の調査報告が對日交渉の中心となるものではない今回の事件は最近に於ける不祥事件で日支關係好轉の折柄實に遺憾であり不幸遭難された二人に深甚の哀悼の意を表する、その後の排日空氣は全く平穩に歸してゐるが未だ戒嚴令は解かれてゐない、事件の解決に就ては現地當局は深く遺憾の意を表してその責任者は直ちに退職せしめ其の原因に就ては極力調査を進めてゐるが未だ發表する域に達してゐない、余の南京歸還後に於ても今次の事件を最後として徹底的日支親善のため事件の解決に努力する考で責任の回避は絕對にせずあくまで公正な立場から解決する考である

## 松村書記官 四日上海發歸國

【上海四日發國通】成都事件實地踏査のため現地へ派遣された外務側調査員松村書記官は三日午後上海に歸着、本日出帆の日支連絡船長崎丸で歸國した

## 外務課長級異動 近日中發令

【東京國通】有田外相は外務人事刷新のため多士濟々の高等官課長級の異動を行つて內外々交機關に淸新の氣を注入する事となり、左の人事異動を近日中に發令する事となつた

任文書課長兼飜譯課長　北平駐在一等書記官　武藤義雄
任情報部第二課長…　情報部第二課長　田代重德
任情報部第三課長　情報部第二課　子爵　本野盛一
任情報部第二課長　東亞局第三課長　柳井恒夫
任大使館一等書記官 獨逸在勤を命ず　東亞局第三課　北澤直吉
東亞局第三課長事務取扱を命ず　調査部第五課長　加藤傳次郎
任大使館一等書記官 中華民國在勤を命ず（北平）　調査部第四課長　加藤三郎
調査部第五課長兼務を命ず

尙ほ歸朝中の獨逸大使館一等書記官森島守人氏はソヴィエト大使館一等書記官に任命されるものと見られる

# 廿ケ年百萬戶の 對滿移民大計畫

## 內閣調査局の移民國策協議

【東京國通】內閣調査局では七大綜合國策實現の見地から七大國策の各項目に就て連日關係各省との協議會を重ねてゐるが三日は午前十時より拓務省の移民國策に關し協議會を開催、拓務省側より高山拓務局長、小河會計課長、大野東亞課長、宮林事務官以下各調査官出席し、拓務省側より

一、廿ケ年百萬戶の對滿移民計畫
一、南米移民對策
一、南洋政策

に關し詳細なる說明を行ひ、午後も續開して五時半散會したが第一回は主として拓務省側の說明に終り、近く更に第二回の會合を行ふ筈である

# 滿洲國內にも 無盡業法公布

## 五日附勅令を以て

無盡業法は五日勅令を以て公布されるが無盡業に關しては從來何等の法令なく然かも滿洲國內には現に無盡會社存在するのみならず、近時諸所に無盡會社設立の計畫があり本事業の經營は一般公衆の利害に關係を有するのみならず一般金融にも關係する所尠からざるを以て、之に對し本法を制定し適當の取締を行はんとするものである、又勅令の公布に伴ふ財政部令及外交部佈告は次の通りである

### 外交部佈告

本大臣及當國駐劄大日本帝國特命全權大使は康德三年六月十日新京に於て署名せられたる滿洲國に於ける日本國臣民の居住及滿洲國の課稅等に關する滿洲國日本國間條約附屬協定第二條の規定に基き無盡業法及同法施行細則並に同法第十條第一項第一號の規定に基く有價證券指定に關する件を日本國臣民に對し適用すること但し南滿洲鐵道附屬地に施行せられざることを協議決定せり

# スペイン革命軍 ベボビヤ市を占領

## =イルン市の陷落迫る=

【ベボビヤ二日發國通】政府軍の執拗な抵抗を排して二日夜イルン市に入つた革命軍前衛部隊は本部隊の後續なき上に政府の猛烈な肉彈夜襲戰に一時後退、イルン市の死命を制するベボビヤ市を砲擊、こゝでも猛烈な白兵戰を演じた後政府軍を擊退これを占領した、革命軍は後續部隊の到着を待つてゐるがイルン市の陷落は目睫の間に迫つた 此の戰鬪で攻防軍とも死傷多數を出した模樣であるが戰死者のうちには佛獨伊白各國義勇兵が多數發見されたと言はれる

イルンに通ずる街道には十二台の自動車隊が待機義勇軍の交替輸送に備へてゐる、一帶の住民は戰々兢々先を爭つてベボビヤ及びアンデーの橋を渡りフランス領內に避難中であるが政府軍二百名も交戰中突如ビダッソサ川に身を投じて遁走を企て政府、革命兩軍が一齊に之に銃火を浴せた爲河水は鮮血に染りフランス河岸に達した者僅か八十名に過ぎないと云はれてゐる

# 凄慘を極める 兩軍の白兵戰

## 避難民と脫走兵に銃火の雨

【ベボビヤ二日發國通】革命軍前衛部隊は二日午前八時十分ベボビヤ州に殺到したが、之に先立ち政府軍は裝甲列車掩護の下に市の西部に迂廻し革命軍を邀擊、猛烈な市街戰を演じ互ひに小銃、機關銃の猛火を交へつゝ交戰午後九時兩軍の交戰は愈よ高潮に達しこの頃政府軍の陣營漸く亂れ裝甲列車はベボビヤよりイルンに向け一キロ後退し目下イ

## 兒玉正金頭取 近く辭任

【橫濱國通】正金銀行頭取兒玉謙次氏は豫ねてから勇退を決意して居たが來る十日同行の定時株主總會を機に愈よ頭取を辭任することになつた、而して後任頭取には現副頭取大久保利賢氏が昇格し、又副頭取には現筆頭常務水津彌吉氏が就任することになつてゐる、尙兒玉氏は頭取辭任後は平取締役として當分殘る筈である

# 竹田宮殿下に

## オリムピックの模樣を言上 凱旋する稻葉大尉、岩橋中尉

【ハルビン國通】オリムピック馬術選手稻葉大尉、岩橋中尉は三日午後三時十分國際列車でハルビン着、同夜十一時發列車で南下するが驛頭左の如く語つた

一昨日ハルビン着の應援團と同行してゐたのだが途中馬丁が病氣となりハイラルの衞戍病院に入院したので遲れた、ハイラルでは竹田宮殿下に拜謁仰付られ大會の模樣をつぶさに言上申上げた、オリムピックでは豫期の成績を擧げなかつたのを殘念に思つてゐる、競技場の芝生が軟かく馬場のコンデションは良好とは言へなかつたが日本の馬も諸外國の馬に比し大した遜色はないから東京大會では優勝を目指して奮鬪したいと思ふ

## 特別大演習 統監部及び演習部隊職員任命

【東京國通】來る十月北海道地方に於て擧行される陸軍特別大演習統監部職員は三日陸軍省より左の如く發令された

一、昭和十一年特別大演習統監部職員は本三日左の如く御裁可あらせられたり

統監部幕僚　陸軍中將　西尾壽造
同　陸軍少將　飯田貞固
審判官　陸軍中將　蓮沼蕃
同　同　中山蕃
同　陸軍少將　藤田進
同　同　稻葉四郎
同　同　三宅俊雄
同　同　岡部直三郎
同　同　安岡正臣
同　同　阿南惟幾
同　同　塚田攻

二、幕僚長は參謀總長閑院宮載仁親王殿下にして監部部長は統監部幕僚陸軍砲兵大佐澄田賚四郎を任命せられる豫定なり

三、演習部隊の主要職員左の如し

南軍司令官　陸軍中將　下元熊彌
南軍參謀長　陸軍步兵大佐　人見興一
北軍司令官　陸軍中將　三毛一夫
北軍參謀長　陸軍步兵大佐　橫山臣平

## 多田地方課長

滿鐵地方部地方課長多田晃、總務部監理課長谷川善次郎兩氏は事務打合せのため四日午前八時五十分着列車で來京した

## 郡山理事來京

滿鐵理事郡山智氏は當局と打合せのため五日午前八時五十分着列車で來京の豫定である

## 東京府、市 商議より 將兵慰問視察

【東京國通】東京府、市及び商工會議所共同の在滿將士後援委員會は三日午後一時より東京府廳に於て開催、北滿にある第一師團の將兵も零下卅度の曠野ではじめて越年するので慰問品の發送に就て現地を視察する必要があると云ふことで來る十月初旬府市商工會議所から十名を現地に派遣することに決定近く人選を行ふことゝなつた

## 文教部總務司長 皆川氏來社

錦州省公署總務廳長から文教部總務司長に榮轉三日着任した皆川豐治氏は四日挨拶に來社

## 滿鐵辭令

新京驛務方 車務員 喜來定男　新京列車區車掌心得を命す

## 川野機關大佐

【橫須賀國通】橫須賀鎭守府附機關大佐川野勝次氏は嗜眠性腦炎で療養中三日午後三時橫須賀市中里町の自宅で死去享年五十、同日附で從四位を贈られ少將に進級した六日午後三時から海軍葬を執行する

## 人事往來

▲丁鑑修氏（實業部大臣）四日午前八時五十分歸京
▲小泉少將　同九時十分ハルビンへ
▲河本滿鐵理事　同午後八時大連へ
▲王殿忠氏（第六軍管區司令官）同午前八時五十分大連より

同
▲林正治氏（鑛山業）同
▲羽佐間崇氏（同和鑛業會社）同
▲矢津田方氏（滿炭社員）同來京國都ホテル
▲平井敬藏氏（九大助教授）同
▲荒井綠氏（奉天市公署）同
▲小岩井勳氏（淺野セメント）同
▲柴田武氏（會社員）同
▲濱田壽榮雄氏（陸軍少佐）同
▲大島英吉氏（朝鮮窯業重役）同向陽ホテル
▲都野正一氏（朝鮮開發會社重役）同
▲牛木寬三郎氏（會社員）同
▲野口遵氏（會社重役）同
▲久保田豐氏（同）同
▲中川忠三氏（會社員）同
▲七田積氏（滿鐵）同新京ホテル
▲赤倉康氏（同）同
▲小山致航氏（陸軍少佐）同
▲織田庄平氏（官吏）同
▲水野朗氏（商業）同大丸新館
▲樋口成敏氏（滿鐵）同
▲小野愛一氏（正金銀行）同ヤマトホテル
▲久保三郎氏（大汽社員）同
▲宮澤惟重氏（滿鐵地方部長）同大連へ
▲染谷保誠氏（盛京時報社長）同奉天へ
▲高野與助氏（石炭商）同國際ホテル
▲上田安次郎氏（ハルビン不動產信託取締役）同
▲坂喜壽雄氏（滿鐵）同
▲吉川貫氏（會社員）同
▲黑水泰治氏（請負業）同
▲大內貞治郎氏（同）同
▲中島中佐　同大和新館
▲關甚太郎氏（會社員）同
▲小笠原俊三氏（北滿新聞社長）同富士屋旅館
▲後藤茂氏（國境每日理事）同
▲入江操氏（會社員）同
▲大麻寬一氏（官吏）同
▲北原岩彥氏（滿洲國官吏）同新都旅館
▲中島福太郎氏（商業）同太陽ホテル
▲山下聰氏（會社員）同
▲高岡又一郎氏（高岡組）同都ホテル
▲小宮山恭次氏（建築業）同國華ホテル
▲內藤松二郎氏（會社員）同
▲山本玉城氏（會社員）同梅屋旅館
▲片山哲三氏（商業）同
▲阿部淸夫氏（滿鐵）同
▲武居鄕一氏（同）同滿蒙旅館
▲山口正信氏（出版業）同旭ホテル

▲木崎求雄氏（滿洲製糖會社）四日午前內地へ
▲佐々木喬氏（東大教授）同
▲山本五郎氏（同助手）同
▲小泉恭次氏（陸軍少將）同北安へ
▲由利元吉氏（滿洲石油會社）同大連へ
▲本田敬太郎氏（海軍豫備少將）同ハルビンへ
▲佐藤健三氏（滿洲石油會社）同大連へ
▲橋本圭三郎氏（貴族院議員）同ハルビンへ

▲池田重夫氏（日本石油會社）同
▲羽田野平三氏（吉林省公署特務科長）同吉林へ
▲多賀勳氏（陸軍大尉）同北安へ
▲宮國義智氏（三和ゴム會社）同吉林へ
▲松村雄吉氏（松村組）同來京國都ホテル
▲吉村栁氏（大陸科學院）同
▲後藤賀太郎氏（美術出版業）同
三日午後市內へ
▲門脇季一郎氏（美術研究家）

## 團體

▲室町小學生百名　四日午前七時二十分吉林へ、同午前七時十分歸京
▲新京青年學校女子部二十五名　同午前九時十分ハルビンへ
▲東京鐵道教習所第一班三十三名　午後三時四十分ハルビンより同六時吉林へ
▲黑河省內國民視察團　同午後五時四十分ハルビンへ

## その日く

□滿洲事變記念日、恒例の本社後援戰蹟訪問マラソン、今や國道は坦々
□村社選手の奮鬪、獨逸の修身書に！、一等になるばかりが勝ではない
□滿洲飛行協會 來る二十七日の航空ページエントに發會幸先よからんを斷る一人
□煤煙防止いよいよ實行運動に移る、衞生的見地からのみでなく經濟上からも
□滿鐵商事部が商事會社に獨立新京移轉、邸家主征伐の總らぬうちに借家なし

# 滿鐵商事部獨立 新京に本社設置

## 二百家族が來京するので 忽ち住宅難に陷る

滿鐵商事部は今回の滿鐵機構改革にて分離獨立することに決定十月一日頃滿洲商事會社として華々しくスタートするものと見られるが同社の本社所在地も新京に決定差當り二百餘名の社員が新京へ乘り込むことゝなり目下商事部新京營業所ではこれが準備に忙殺されてゐる、先づ第一に惱みの種は社屋の問題であるが更に困つてゐるのは社宅の問題で結局或は或時期まで重役はホテルに一般社員は市内のアパート下宿屋等に分宿することゝなるであらうがこれによつて最近市内に散見する貸家貸間札も姿を消すであらうし一般的にも相當潤ひを齎すことであらう、なほ久松所長は準備其他の打合せのため四日午後八時の列車で大連に出張する

# 村社選手の態度 獨逸の修身教材に

## オリムピツク招致委員等歸朝

【下關國通】日の丸の軍扇と拍手で日本獨特の應援振りを發揮し世界をアッと言はせた日本のオリムピツク應援團、待望のマラソン制覇を完成させた名コーチ佐藤秀三郎氏及びオリムピツク東京招致委員長辰野保氏を交へた文部省奬健會見學團一行六十八名は三日朝關釜連絡船慶福丸で元氣一杯下關に凱旋した、辰野氏は語る

第十二回オリムピツクが東京開催と決定したに就てはイギリス殖民地が本國の野心を抑へたことゝフランスアメリカ等の好意は忘れることの出來ない好印象を受けた東京大會に際しては質實剛健を旨とし全競技を五十圓位で見物出來るやうにしたいと思ふ、村社選手の態度は各國選手のうちで最も注目を惹きナチス精神の發露だと言つて修身の教科書にとり入れることになつた

# 事變記念日を期し 戰蹟訪問マラソン

## 本社の後援でより盛大に

事變當時花と散つた將兵の英靈に衷心感謝を表するとともに事變當時の氣分を新にするため例年本社後援にて開催して來た戰蹟訪問マラソン大會は本年は滿洲帝國協和會首都本部主管新京體育聯盟、大滿洲帝國體育聯盟、新京特別市公署主催、本社後援にて最も盛大に擧行することゝなり大會要項は左の如く決定した、

▲期日及時間＝九月十八日午後一時

▲參加資格＝新京在住者

▲チーム編成＝第一部第二部に分ち第一部は第一第二支部に屬する分會員をもつて分會毎にチームを編成す、第二チームは其他の勤務箇所又は市中一般團體をもつて編成す

▲申込＝九月十六日正午までに選手六名補缺一名をもつてチームを編成し滿鐵地方事務所社會係へ申込むこと

▲集合地＝十九日正午までに西公園正門前に集合

▲コース 第一區西公園—忠靈塔—寬城子（約三、五〇〇米）第二區寬城子—日本橋電業營業所前（約二、五〇〇米）第三區電業營業所前—南嶺（約三、五〇〇米）第四區南嶺—南嶺記念碑（約三、〇〇〇米）第五區南嶺記念碑—南關（約三、〇〇〇米）第六區南關—驛前—西公園前（約五、〇〇〇米）

▲競技細則は別に定む

▲入賞者には特別入賞メダルを贈與す

▲參加賞＝參加者全員に贈與す

## 朝鮮風水害 第二報

【東京國通】今回朝鮮に於ける第二次風水害狀況につき拓務省に達した報告によれば九月二日正午までに判明したる被害狀況左の通りである

| | |
|---|---|
| 死者 | 一、五九六 |
| 行方不明 | 一、〇五六 |
| 負傷者 | 二、〇四五 |
| 住家流失 | 五、一一一 |
| 全壞家屋 | 九、〇六六 |
| 床上浸水 | 四九、一〇二 |
| 船舶流失 | 九六六 |
| 船舶行方不明 | 五一 |
| 船舶沈沒 | 二、七一一 |
| 船舶全壞 | 一、五〇〇 |
| 船舶半壞 | 一、七二五 |

尚ほ交通、通信杜絕のため眞相判明せざる向あり被害幾分增大の見込である



## 横領犯人捕はる

梅ヶ枝町三丁目壽ビル集金人富山縣上新川郡新井村生れ八河久直（二八）は六月二十五日集金した百八圓を横領して行方を晦ましてゐたが四日午前十一時ごろ祝町四丁目十番地先路上を徘徊中財前刑事に逮捕された

## 特選名畫大會 八、九兩夜

「特選名畫大會」は既報の如く愈よ來る八、九兩日（五、六兩日とあるは誤り）に亘り毎夜七時より記念公會堂において開催されるが、プログラムはパラマウント「戰場よさらば」太秦發聲「理想鄉の禿頭」同「お妻やくざ」等何れも先頃上映好評を博したものばかりで、市内著名商店並に本社では割引入場券を發行して優待の便を計つてゐるからせい／＼利用されたい（割引券持參者に限り十五錢）

# “亞細亞の先驅” 十八日一齊封切

## 皇軍滿洲の活躍を背景の名畫

滿洲に活躍する皇軍の勇姿を背景として關東軍監修の下に協和會映畫班で製作せるトーキー「亞細亞の先驅」（二卷）は來る十八日滿洲事變五周年記念日に内地は東京、大阪、滿洲は大連、奉天、新京、ハルビンで同時封切されることゝなつた

## 留守中盜まる

中央通り滿鮮ビル内大連汽船會社出張所社員川原謙吉氏方では三日午後二時ごろ家人不在中夏服一着、現金七十三圓その他數點を何ものにか盜まれた

# 國務院を飾る

## 苦心の作を携へ和田畫伯來京

滿洲國政府では今年十一月完成する國務院廳舍と改造築中の宮内府など官衙を日本一流畫家の麗筆によつて飾ることゝなり、かねて岡田三郎助氏はじめ帝展畫伯に揮毫を依囑したが、この晴れの揮毫者の一人帝展審査員和田三郎畫伯は精進滿一年國務院貴賓室應接間を飾る大作二枚を完成、三日午前八時五十分着列車にて國都に入京した（寫眞は和田畫伯と白鷺城）

# 白菊學校の收穫祭

## 英靈に奉獻

新京白菊小學校兒童がその成熟を樂しみに小さな魂こめてまめ／＼しく培つて來た校庭の蔬菜園の枝豆にじやが芋が可憐な勤勞の結晶となつてこの程見事に熟れ渡つたので三日中に全校生徒が小さなお百姓となり、黑土を踏んでかひ／＼しく收穫行事を終へた同校では四日午前十時半から盛大な收穫祭を擧行した、穫れた苦心の穫物は何はさておき地下に眠る英靈に捧げねばと全校職員生徒が打ちつれて忠靈塔に參拜、校長先生の手から穫物の奉獻があり串玉を奉奠次いで一同に訓話があつて歸校いよ／＼お祭に移つたが折柄のそぼ雨にもめげずつのかまどを圍んで四年以下が午前中に、五年以上は午後新鮮な匂ひのする僕等の傑作は意氣深く全校兒童の口にいしくほゝばられた

× × × ×

# 滿洲國各官署對抗 武道試合あす

## 百五十の選士火花を散らす

本社後援滿洲帝國武道會主催の第一回滿洲國各官署對抗武道試合は愈よ五日午後一時から大經路小學校講堂に於て百五十名選士參加の下に華々しく擧行される事となつた、大會當日の組合せは次の通りである

▲劍道之部

A組

1 蒙政部—總務廳
2 大同學院—國道局
3 民政部—營繕需品局
4 蒙政部—大同學院
5 總務廳—國道局
6 大同學院—民政部
7 國道局—營繕需品局
8 總務廳—民政部
9 蒙政部—國道局
10 大同學院—營繕需品局
11 國道局—民政部
12 蒙政部—營繕需品局
13 總務廳—大同學院
14 蒙政部—民政部
15 總務廳—營繕需品局

B組

1 首都警察廳—實業部
2 軍政部—司法部
3 交通部—財政部
4 首都警察廳—軍政部
5 實業部—司法部
6 軍政部—交通部
7 司法部—財政部
8 實業部—交通部
9 首都警察廳—司法部
10 軍政部—財政部
11 司法部—交通部
12 首都警察廳—財政部
13 實業部—軍政部
14 首都警察廳—交通部
15 實業部—財政部

最後にABの勝者を以て優勝を決す

▲柔道之部

第一戰
1 司法部—中央警察學校
2 需品局—民政部
3 首都警察—實業部
4 大同學院—蒙政部

第二回戰（不戰一勝）
外交部—1の勝者
總務廳—4の勝者

# 滿洲事變回顧（二）

## 皇軍の神速に今更ながら驚嘆（下）

當時長春守備隊 現滿鐵地方事務所 加藤忠紀

午前九時に中隊主力が歸つて來たが息づく暇も無く直ちに南嶺への出動準備である、九時半頃には準備が完了したが何せ城内の支那兵がどうも氣になるのである、當時長春には日本の軍隊僅かに約一千、この少數を以つて居留民保護と擔任警備に當つてゐたが之に對し支那軍は其總數七千、實に我が軍の七倍にして而も南嶺、寬城子、城内と三方から附屬地を包圍する形に配置されてゐたので遂に守備隊は旅團の豫備隊として出動準備のまゝ營庭に待機を命ぜられた南嶺では同僚が苦戰に陷つてゐる、前市岡大尉戰死、小原上等兵戰死、倉本中隊苦戰と刻々に情報が入つて來る、立つても居ても居られぬ、焦燥に驅られるが勝手に出て行く譯には參らない、此間約二時間これは私の今迄經驗したうちで最も苦痛なそして最も長かつた時である、十二時一寸前になつて寬城子占領、城内の支那軍逃走と分り喜び勇んで南嶺に飛んだのである、私は部下の機關銃二ヶ分隊を指揮して行つたのであるが途中馬に積まずに行つた、長春から約二里殆んど駈足、あの十二貫もある重い機關銃や重い彈藥箱を持つてよく一人の落伍者もなく駈けつけ得たと何時も部下の兵に感謝してゐるのである

▼……▲

五里堡（現在の錦ヶ丘高女附近）の丘に上つて東を望めば敵營既に兵の變目す所となり黑煙天に冲し痛快！萬歲！悽愴！悲慘！萬感交々南嶺に着くや直に練兵場東端に機關銃を据へ機關銃營及彈藥庫方面を攻擊、新なる急援線に敵はどつと雪崩を打つて逃げるもの或は我が追擊に逃げ場を失ひ窮鼠猫を嚙む勢で向つて來る者等を薙ぎ倒し、前進又前進遂ひに南嶺東端伊通河の邊にある支那軍の射擊場迄追擊し之を擊滅した時の痛快さは一生忘るゝことの出來ないものであつた、此の追擊中公主嶺部隊の友人及負傷兵は私の顏を見るなり、水、水、水、と叫び私の水筒をもぎ取る樣にして水を飲む、私は此時程悲痛な思ひをしたことはなかつた、考へて見れば彼等は午前五時に朝食をとつたきり午後一時迄飲まず食はず否水飲む暇も何もない只進一無二戰つてゐたのだと思つた時長春で二時間もじつとしてゐたのがたまらなく濟まなくなり口惜しくなり自分の功なきを恥ぢざるを得なかつたのである

▼……▲

敵營の掃蕩を終り乘馬隊と共に兵營に歸つて來ると居殘つた川元曹長が營門に飛んできて今鳩便で死體及負傷者の收容馬車五十台擔架二十五持つて直に來るとのことで準備はしたが引率する者が無いから君は直ちに引返してくれと言ふので馬も降りずそのまゝ乾麵包を補充し在鄉軍人五十名内銃を持つもの二十五名それに小林軍醫渡邊看護長、傳令に赤澤上等兵を隨へ午後七時頃長春を出發したのである

一行が今の興安大路附近に出ると十九日の月は早や西の山陰に沒し丈餘の高粱沿路の兩側を覆ふて視界全く遮られ敗殘兵の横行を擅にして自衞上甚だ不利であつた、而も現役兵は私と赤澤上等兵、軍醫殿と看護長はゐるが非戰鬪員であるから在鄉軍人の銃には全部着劍し私は先頭で拳銃の引鐵に指を掛け全く緊張そのまゝの行進を續けたのである、幸ひ事なく南嶺についたのは午後九時頃であつた、晝の戰鬪の時は氣がつかなかつたが夜着いて見ると兵舍焰々猛火既に各營を舐め黑煙濛々天に冲し迴風惡臭を送つて鼻を衝き火藥庫も赤目されて、鐵砲彈炸裂の音が天地に轟き被甲が音を縫ふて飛散し遠く消へ壯觀極まりないものがあつた、私は此時初めて戰場に呼ぶ帝國萬歲の心事を知つたのであるが到底言葉や筆に盡くし得ないものがあつた、練兵場を進むと無心に蟋蟀が脚下で鳴き黑い影が點々として百數十もあるので透して視ると敵の遺棄した屍と斃馬なのである、陰慘な呻き未だ絕へず實に悽愴そのものであつた

▼……▲

漸く探して屍の所に行つて見た時倉本少佐以下三十名が軍服を鮮血に染め無念の齒を喰ひしばつて戰死して居られるのを拜んだ、今朝相倶に語つた元氣な聲がまだ耳に殘つて居り、元氣であつた、今朝のあの姿が今は國難に殉じ再び還らぬ護國の鬼となつたかと思つた時萬感交々胸を壓し言はんとして言葉が咽喉につまつて出なかつたのである、飛電が名譽の戰死を傳へて此の多くの勇士を鬼籍に送つたと知つた時父兄は日本人である以上決して慟じないであらうが夜半弔客が去つて一家老幼が相擁し無言の食を布き白燈緩やかに昇るとき誰か涙無き者があらうか私はそれを想つて感極まり熱涙を禁じ得なかつたのである、屍を收容して公主嶺の部隊と共に之を護衞して長春守備隊に安置したのは二十日の午前五時頃であつた

▼……▲

あの事變以來滿五年滿洲國も愈々國礎益々堅く隆々として榮へつゝありと雖も理想國家の建設は一朝一夕によく之を爲し能わざる所である、從つて今尚治安の肅正に或は財政に經濟に或は外交に或は產業開發に今後なほ大なる努力を要することと思はれる、吾人は滿洲事變五週年記念日を迎ふるに當り當時を回想して思ひを新にし擧國一致滿洲國の發達を扶け東洋の平和を確立し地下の英靈を慰めたければならいのである

## あす（五日）

▲淨月潭工事竣工式、午後二時

▲協和會朝鮮分會結成式、午後二時、普通學校

▲各官廳對抗武道大會、午後一時、兩級小學校

▲滿洲國體育大會陸上豫選、午後一時、西公園運動場

▲ラグビー、中銀對實業部、午後三時半、中銀グラウンド

▲秋季第二次競馬第七日

▲慰問袋受付締切

▲カメラハイキング申込締切午後五時、本社事業部又は寫眞機材料店へ

▲馬車組合懸賞募集締切

▲浪花亭綾太郎浪曲、公會堂

◇…今晩の主なる演藝放送…◇

▲六・三〇趣味講話「町學者の話」（東京）笹川臨風▲七・〇〇俚謠（旭川）佐々木長左衞門外▲七・二五室内樂（東京）杉山長谷夫外▲七・四〇小唄（東京）菊池をさ外▲七・五〇ラヂオコメディ「秋の抒情詩」（東京）齋藤豐吉潤色

天氣と氣溫

明日の天氣　南寄の風曇り驟雨
日の出　前五時六分
日の入　後六時八分
月の出　後七時四七分
月の入　前九時三六分
けふの氣溫　最高二三度七　最低二〇度

## 河合ダンス一行 近く來演決定
### 秋シーズンの劈頭飾る豪華版

松竹、寳塚少女歌劇團と共に我が國において名實ともに三大レヴューの内に數へられる河合ダンス一行が今回大連常盤座の改築落成記念興行に招かれて來滿するのを機に、沿線主要都市の公演が決定した、新京への訪れは九月中旬の豫定であるが、從來幾多來演した群少レヴュー團と異り古い歷史と聲名を誇る本格的レヴュー團の來演は蓋し今回の河合ダンスを持つて最初とするものである、創設十五年の傳統の中に華やかな成長を見せた洗練された美女群の描き出す絢爛豪奢を極めたスペクタクルな舞台面は圓熟せる演出の効果と相俟つて必ずや國都レヴューファンの待望に應へるものがあらうと期待されるところが大きい(寫眞は亂舞の一シーン)

## "名馬物語" 豐樂新キネ あすから

豐樂劇場並に新京キネマ五日よりの番組は左の如く日活一番線にRKO作品を配した三本立編成である

▽日活京都「銀之丞異變」後篇 前篇同様澤田清三役主演、組田松尾原作 横木宏脚色、久見田喬二監督になる解說版、神出鬼沒の怪盜五人組、眞田の殘黨と稱する六文錢組、果して彼らの正體は何者か、大岡越前守の腹心木川良助必死の探索にもかゝはらず事件は奇怪な謎を秘めたまゝ良助の妹雪枝の失踪によつて前篇を終つた、闇口の擴がつたこの物語り、如何やうに後篇で解決されるか、進藤英太郎、鬼頭善一郎、尾上桃華、大崎史郎、五月潤子、鈴村京子、櫻木梅子、水之江澄子の助演によつて興味深く綴られる、キャメラは井集英一の擔當である

▽日活多摩川「日蝕は血に染む」 六月十九日日蝕觀測の貴重な報道寫眞資料を一刻も早く全國民に提供すべく北海道の一角から暗夜東京へ飛行の途中、山腹に激突殉職を遂げた讀賣機の遭難事實を映畫化したもので八木保太郎の原作脚本により首藤壽久、森永健太郎の二人が監督に當つた、小杉勇、笠〃恒彦、高木永二、廣瀬恒美、山本禮三郎、美川かつみ、原みち代等が出演、キャメラは大島彥兵衛

▽RKO「名馬物語」「街の野獸」のウオルター・ヒユーストンと「虛榮の市」のフランシス・デイの出演する映畫で、世界大戰に絡る勇敢な名馬の物語りを綴つたもの、原作はレナードH・ネースン作小說によりアルバート・セルビー・ルヴイノがF・マツグルー・ウイルスと共同脚色、ジョージ・アーチエンボートが監督に當つた、助演者としてミナ・ゴンベル、フランク・コンロイ等が出演、キャメラはハロルド・ウエンストロムの擔當である

### 仙人掌

パレスの益美、ボックスを揺ぶつて、頬をふくらして、何か拗ねてゐる様子だつたが、いきなり右手を出して指切りしてニッコリ▼はたから見てオヤ此の子ももう年頃になつたかと慨嘆するには未だ早いです、ボックスの蔭のお客に活動の切符を二枚しきりにねだつてゐたのです、あとの一枚は誰にやるのか聞き渋らしました▼「あかしや」にゐた摩耶子が「寳塚」に變りました、先日は仙人掌子に、もう書かないでよ、仕事なんか忘れつちまへよ、と言ふのでしたが、これは何か此の子の心臓の弱さでした、仙人掌を正しく認識してゐぬお嬢さん方に掛つては却つて自分自身情ない思ひをすることですが、仙人掌のペンは痩せては不可ますまい、それはそれとして摩耶子も大びらに戀ぐらいしてもいゝ齢だらうと誰かが言つてゐたです



### 再び「モロッコ」

パラマウント映畫、マーレネ・デイトリッヒ、ゲーリー・クーパーのコムビ、ヨセフ・フオンスタムバークの監督作品、一體何度出て來たら納得が出來るのであるかと言ひたい寫眞だ、これだけ喧傳され、これだけ壽命を保つてゐる作品は、先づトーキー以來この寫眞あたりをもつて随一とする、素足で熱砂を踏み越え戀し男の後を追つて行つた女の戀愛讃歌 思へばスタムバークの情熱も此の頃においては最も光彩陸離たる輝きを放つてゐたものであつたし、何時の世にも變らぬ戀の至情こそげにいみじきものであるとこそ思はしめて、流石にもう此の頃となつてはこの名畫も懷しき想出の彼方に置かれるやうになつて了つた、長春座七日上映、寫眞はゲーリー・クーパー

### 雜音

在京各中等學校を打つて一丸とする「映畫教育聯盟」が近く結成されるといふ快ニュースが報導された▼筆者はきのふ映畫に對する學校教育當事者の認識を促す積りで一言私見を述べておいたのであつたが、けふは「促す積り」でゐた不遜な筆者の認識不足を詫びねばならぬ▼言ふまでもなく凡百の理論よりも一つの實行により大きな意義が存する、國策映畫、文化映畫の製作が旺んに唱導されてゐる今日にあつて、教育當事者の映畫に對する關心は寧ろより以上に積極的なものであつて然るべきである▼われ〳〵はかゝる氣運の既に熟したるを喜ぶとともに逸早く聯盟組織の實現と、正しい使命への遂行が着々として行動化されんことを希つてやまないのである

土曜 庚寅 友引 破 胃宿
九月五日 舊七月二十日

●一白の人 巢を立たざれば鳥も擊たれまじ守靜が肝要 已と庚と辛が吉
●二黑の人 慾望の大なるに過ぎて却て損失を高むべし 甲と丁と癸が吉
●三碧の人 躊躇するは好ましからず自信を決行すべし 乙と己と壬が吉
●四綠の人 妄想を去り苦より樂に入らんと心掛くべし 巽と巳と壬が吉
●五黃の人 意の如く運び難き日氣折れは更に甲斐なし 甲と丁と癸が吉
●六白の人 圓轉滑脫にして人と交りを結べば次第に吉 乙と內と丁が吉
●七赤の人 小事と侮りて油斷すな蟻の穴より堤も崩る 丙と丁と壬が吉
●八白の人 氣隨を愼しみ舊業を堅く守りて安全を謀れ 甲と丙と壬が吉
●九紫の人 巧言を退け分を守りて精勵すれば功果揚る 乙と丁と戌が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

朝刊（本紙朝夕刊十二頁）

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水遠内之介



## 三相會議決定案に基き 川越大使に重大訓令
### 帝國の斷乎たる決意を示し 支那側に重要々求提示

【東京國通】有田外相は四日の定例閣議に於て外務、陸軍、海軍三相間で完全に意見一致した成都問題解決の大綱方針を詳細説明し協議した結果成都事件は南京政府が我既得權たる成都總領事館の再開館を妨害した結果、成都に排日運動勃發しかゝる不祥事を惹起するに至つたものである故、帝國政府としては斷乎たる決意を以て南京政府と嚴重交渉をなし、更に將來に於る排日を根絶せねばならないといふに意見の決定を見、川越大使に對する重大訓令案の要項を決定、此要項に基き三相間で更に細目並に字句の修整をなし有田外相より上聞に達した上四日夕刻川越大使に對して訓電を發した、よつて川越大使は右訓令に基き張外交部長との間に愈よ外交折衝を開始し、國民政府に重要々求を提示する事となつた

## 外相、葉山に伺候 成都事件を報告

【東京國通】成都事件に關する我對策は三日の三相會議に於て外、陸、海三相の意見が完全に一致し、愈々川越大使に對し重要訓令を發する事となつたので、有田外相は四日午後二時葉山に赴き同三時半御用邸に伺候、天皇陛下に拜謁仰付られ、同事件に關する現地よりの報告並に三相間に於て決定せる今後の方針を奏上種々御下問に奉答して退下歸京した

## 臺北新聞通信代表 政府に激電

【臺北國通】臺北にある日刊新聞通信社の代表よりなる廿七日會は今回の成都事件に對し三日會合の上南方の第一線に起つ我言論人は渡邊、深川兩氏外遭難者に對し誠に痛悼に堪へず政府は斷乎禍根の絶滅を期せられたしとの意味の激勵電報を首相、外務、陸海軍、拓務の五大臣に宛て發送した

## 北支領警充實費 十四萬餘圓追加支出

【東京國通】政府は四日の官報で北支居留民保護取締りのため北支領事館警察充實費として十四萬七千九百卅圓を第二豫備金より支出の件を公布した

## 成都事件に關し 弘報協會緊急決議

滿洲弘報協會加盟九社（滿洲日々、奉天日々、大新京、ハルビン日々、滿蒙、盛京、大同、大北、マンチユリアデーリーニユース）代表は四日新京に緊急會合を行ひ、成都事件に關し左の如き緊急決議をなし之を有田外相及川越駐支大使宛打電した

今回四川の暴虐は日支友好の根本を破壞し殊に接壤の滿洲國に及ぼす影響の至大なるを得べき、日滿兩國の居特に當局に於て斷乎事に臨むべきものとす、乃ち貴大臣大使の決然たる處斷を切望して已まざるものなり

昭和十一年九月四日 滿洲弘報協會
外務大臣 駐支大使 宛

新京滿人記者協會に於ては三日午後二時より臨時幹事會を開き今回の成都事件に斃れた大阪毎日渡邊記者及上海毎日深川記者に對し友邦滿洲國の同業者として深甚なる弔意を表するため各々所屬社に對し左の如き弔電を發した

貴社渡邊氏の御遭難痛惜に堪えず（大毎宛）
貴社深川氏の御遭難痛惜に堪えず（上海宛）

## 冀察稽查處 五日より業務を開始 内部組織は全部決定

【天津四日發國通】天津海關監督林世則氏辭職により後任には前天津市公安局長孫維棟氏が決定、五日就任する事となつたが、孫氏の就任と共に冀察稽查處は即日業務を開始するものと見られてゐる、處長王鴻文氏、副處長賓崇楙氏等は目下天津に在り準備中であるが内部組織及び職員は全部決定してゐる、右狀況に基き天津海關長リヒヤード氏は北戴河に滯在中のメーズ總税務司と協議の爲三日同地に赴く等稽查處問題を繞り頗る緊張してゐる

## 造船界黄金時代 八月現在百廿隻 七十七萬噸

【神戸國通】八月末現在に於る本邦各造船所建造中並に手持新造船總量は實に百廿隻、七十六萬九千百重量噸に達した、これを八月十五日現在に比すれば、約二週間の短期間に九隻、八萬三千重量噸の造船註文が發せられた譯である最も多數の手持工事を有して居るのは川崎の十七隻、十六萬一千重量噸、以下主なるものは左の通りである

▲三井玉造船所、二隻、一四七、五〇〇噸
▲三菱長崎造船所、一隻、一一七、三五〇噸
▲川崎造船所、一十隻、一六一、七〇〇噸
▲大阪鐵工所、一二隻、九五、四〇〇噸
▲三菱横濱船渠、一六隻、七四、九〇〇噸
▲浦賀船渠、六隻、三七、七五〇噸
▲三菱神戸造船所、九隻、三四、九〇〇噸
▲播磨造船所、一六隻、七八五、〇〇〇噸

## 滿鐵商事部獨立の 設立具體案決定 十月一日期し創立總會開催

【大連國通】商事部を獨立せしめ商事會社を設立する問題は滿鐵で關東軍、滿洲國等關係當局間に協議が行はれて居たが、左の設立要項を以て現地具體案を決定、二、三日中に武部商事部長が之を携行して上京、關係方面に説明の上認可を得次第直ちに設立準備に着手し、十月一日の滿鐵機構改革と同時に創立總會を開く方針である、設立要項左の如し

一、商事會社は撫順、滿炭の石炭及昭和製鋼所の銑、鋼滿化の硫安の委託販賣を行ふ
一、資本金一千萬圓で七對三の割合で滿鐵七百萬圓、滿炭三百萬圓を各々出資す
一、會社の構成は現商事部機構全部（在外各地の營業所を含む）に撫順炭販賣會社を解散し之を買收合併す
一、販賣機構は大部分現狀維持とするが、奉天大連は多少充實する
一、本社を新京に置く

## 米國海軍大演習 明年太平洋で擧行

【ロスアンゼルス三日發國通】米國政府は年末ワシントン、ロンドン兩條約の滿期失效に備へ太平洋岸の國防充實に大童であるが三七年一月から三月にかけ南カルフオルニア沖に於て索敵、戰鬪兩艦隊以下百五十隻を總動員し空軍參加の下に太平洋防備の立體的大演習を擧行するに決定した、演習の中心地はロスアンゼルスの西南五十八哩のサンクレメンテ群島の豫定である

## 兒玉正金頭取の 勇退惜まる

【東京國通】勇退に決定した正金銀行頭取兒玉謙次氏は梶原仲治氏の後をうけ大正十一年三月頭取の任に就いて以來今日まで在任十四年六ケ月の永きに亘り、その間大正十二年九月關東大震災、昭和五年一月の金輸出解禁、昭和六年十二月の金輸出再禁止、その後に於る財政インフレの推移等、幾多の重大事件に直面してよく處置を誤らず、爲替の安定に成功し、且つ又日華貿易協會々長及日華實業協會副會長として日華貿易上に貢獻するところ大なるものがある、氏が爲替政策及び貿易政策上常に指導的地位に立つて其の殘した功績は内外人の等しく認むる所であり、從つて今回突如として氏の勇退を見る事になつたのは一般から著しく惜まれる事であらう、新頭取になる大久保利賢氏は當年五十九歳、明治卅六年東京帝大法科を卒業すると直ちに正金銀行に入りロンドン支店支配人、横濱本店支配人、取締役同常務とトン々々拍子に出世し、昭和八年三月副頭取となつて今日に至つたもので人物識見共に早くから次代頭取の折紙を附けられて居たもので今回の昇格は當然の順序と見られて居る

## 無盡業法に關する 財政部當局談

無盡業に關しては從來何等の法令がなかつたのであるが我國内には現に無盡業を營む會社が存在するのみならず、近時諸所に無盡會社を設立せんとする計畫が進められつゝある情勢にある、然るに本業は廣く一般公衆の資金殊に零細資金を無盡の方法に依り融通運用する金融事業であるから其事業の盛衰如何は直ちに一般公衆殊に細民の利害に重大なる關係を有するのであつて延ては一般金融界に及ぼす影響も尠くないのである、即ち無盡會社の國營には適當なる取締を行ひ以て庶民金融機關たるの機能を發揮せしむるに遺憾なきを期する必要上本法を制定するに至つたのである我國には古くより抜會、友錢會、合會又はその他種々なる名稱を用ひて行ふ所謂無盡の制度が存するのであるが現に之を營業として居る者及び今後斯種事業を營まんとする者は一切本法の適用を受くる事となり、許可なくして之を行つた場合は五千圓以下の罰金に處せらるゝからこの事業に關係ある者は特に細心の注意を以て本法を研究し、該當者は正當手續を履践すべきである、尚ほ本法は日滿條約に基く外交部佈告に依り日本人にも適用せらるゝものであるから現存の日本側無盡會社は勿論その他日本人も本法の公布ありたる事及びその適用せらるゝものなる事を心得過誤なきを期する必要がある

▲無盡業の許可方針 無盡業は廣く一般公衆の零細資金を融通運用する性質上極めて重要なる金融事業であるに鑑み會社の亂設は極力防止し、地方毎に適當の統制を圖り、發起人及經營者の人選には特に重點を置き人格者にあらざれば之を許可せざる方針である

▲無盡業法要綱 本法は範を日本無盡業法に採つたものであつて法の内容は一部を除き日本無盡業法と殆ど同一であつて全四十五條から成つて居る

## 松岡總裁 北滿視察日程

【奉天國通】松岡總裁は京白線沿線並に佳木斯移民視察のため七日午前九時大連發あじあで新京に向ひ二泊の上九日午後零時卅分新京發白城子に赴き同地の自警村並に種畜場を觀察、更に索倫、南興安温泉を視察の上十二日白城子より飛行機でチチハルに出で次で北安、綏化、依蘭、佳木斯滴道等松花江沿岸各地並に移民地を視察、廿一日朝牡丹江より飛行機で新京に歸來、同日午後一時四十七分發あじあで大連に歸任の豫定である

## 南嶺及郊外ピクニツクとカメラハイキング

一、日時 九月六日（日曜日）
一、コース 南嶺—刀家山の森—刀家山—傀家嶺—張家店
一、人員 二百名
一、集合 往路 午前七時西公園正門前集合 午前七時半出發
歸路 午後二時南嶺兵營前出發 午後二時半西公園前解散
一、會費 五十錢（バス料金）
辨當は御持參のこと御希望の方には本社指定店にて御世話し五十錢増し
ピクニツクには餘興として福引を行ひます
作品 四ツ切りを以て原則とす
締切 九月十三日

審査 權威者によつて審査の上等級を決定するものとす（審査員の氏名は追つて發表）
發表 九月十四、十五、十六の三日間驛前大興公司樓上にて展覽會を開催
其他 一、當日は午前十時頃よりモデルを準備す
一、作品は新京觀光協會にて募集中の懸賞寫眞へも出品するものとす
申込 一、提出寫眞は選外と雖も返戻せず
整理上五日午後五時まで本社事業部電話（3）三八八〇番又は市内寫眞機材料店まで御申込み下され度會員劵は當日出發前集合場所にて現金と引換に御渡し致します
賞品 一等 絹紬 價格十五圓
二等 義縣錫魚池 價格十圓
三等 天津銅三枚組盆 價格五圓
四等 萬年筆 價格三圓
等外佳作 魚化石 價額一圓（五名）

主催 新京日日新聞社
後援 新京寫眞機材料商組合

## 張國務總理 大河内、鈴木兩博士を招宴

張國務總理大臣は五日午後五時三十分ヤマトホテルに大河内正敏、鈴木梅太郎兩博士ほか科學審議會委員を招待し歡迎宴を催すことになつた

## 第二次國道會議 愈よ本月末召集
### 國道第二次五ケ年計畫審議

滿洲國政府では第二次五ケ年計畫に基く國道建設に就き三日午後總務廳會議室において大達總務廳長以下神吉次長、松田企劃處長、古海主計處長、大迫國道局總務處長、坂田第一技術處長、大津民政部總務司長、平井出交通部總務司長其他關係官出席の下に最後的打合會議を開催したが其の結果康德四年度以降五ケ年間に總經費七千五百萬圓を以て治安、産業、國防各路線一萬三千粁の國道を建設し、之に伴ひ約十ケ所に永久構造の特殊橋梁を架設し併せて既設國道の改良を行ふに決定したので政府では愈よ本月末第二次國道會議を召集し其の諮詢を經て實施する事になつた

## 同胞殺戮の慘狀 宛然、無政府狀態現出
### マドリツドの形勢愈よ險惡化

【東京國通】動亂スペインの現狀に關しては各種の報道入り亂れ其の眞相把握は困難であるが、最近其の筋へ達した諸情報を綜合するに首都マドリツドの形勢は刻々險惡化し物情騷然悲慘な最後が切迫した模樣である、即ち動亂勃發以來マドリツド市中では人民戰線派の民兵が横行し革命軍側と看做される王黨系及び右翼系人物の虐殺相次ぎ今回の報告によれば既に其數千七百八十名に達するといはれる、其の中には軍令部長サラス將軍以下知名の士が多數含まれ同胞殺戮の慘狀を呈しさながら無政府狀態の有樣で遂にマドリツド政府當局でも民兵横行と市民の虐殺を取締るため去月二十三日から特別裁判制度を實施し又市中の警備は民兵の代りに特別の正規兵によつて治安維持に努めて居る、從つてマドリツドに一部殘留した外交團も各々自由行動を決議、建物を閉鎖して續々避難中の爲め帝國公使館でも遂に婦女子の引上を斷行する事に決定、先發として書記生宮澤次郎氏の家族及び公使館に避難中の在外研究員は去る二日マドリツドで軍艦に便乘してマルセーユ港に向ひ來る十日同港出帆の郵船靖國丸で歸國する事となつた、尚ほ在マドリツド帝國公使館に對しても右翼系人物を匿つて居ないかとの嫌疑理由で民兵隊が館内の檢索を行つた事實があり今後悲壯な籠城を續ける高岡書記官及び宮澤書記生の身邊は益々危險に晒されて居るので外務省では兩氏に對しマドリツド引上方を訓電する筈である



## 人事往來

▲李文炳氏（滿洲國地區司令官）四日午後吉林へ
▲王靜修氏（第五軍管區司令官）同奉天へ
▲岸川中佐（軍司令部）同ハルビンより
▲武居高四郎氏（京大教授）同來京中央ホテル
▲中川政五郎氏（會社取締役）同
▲萩、徹二郎氏（建築業）同吉林へ
▲高橋敏夫氏（日ソ通信社）同天津へ
▲渡邊矢作氏（滿鐵）同奉天へ
▲滑野盛平氏（同）同

## 航空往來

▲野村滿航社員 四日午前八時ハルビンへ
▲松本少佐 同チチハルへ
▲木田中佐 同黒河へ
▲小野口大佐 同ハルビンへ
▲岡田太郎氏 同ハルビンより
▲工西角三郎氏 同
▲堂脇大尉 同滿洲里より
▲津田中佐 同

或る福祉委員が調査の結果これは救濟を要するといふので▲其旨社會係へ報告したところ社會係でもう一度調査をした▲ところが或る福祉委員の方ではすつかり己の面目玉を踏みつぶされたといふので▲福祉委員なんて一文も貰つてゐない名譽職だ▲それに臭くもない腹を探られるなど間尺にあつた話でないやめてしまうと憤慨した▲ところがこんなのもある▲ある夫婦づれの旅藝人が仕事にあぶれて困りはててゐるのを見た同縣人と稱する男が▲自宅へ招じて世話してゐるうちその妻君が今にも身二つにならうといふのに金がない▲途方に暮れてゐると同縣人と稱する男某福祉委員のところへ飛んで行つて▲かく〳〵しか〳〵と話込み委員の報告書で社會係から〇〇圓分娩費を貰ひ受けた▲やがて婦人は分娩して身體も元通りになり夫婦は三拜九拜してその家を出た▲分娩費用から滯在費は全部同縣人の情けだと思つて……

## 社說 新しい體制への進展 諸重要政策と生活の安定

一

幾つもの國家が集團的に對立し、列國の利害が甚だしく入り亂れてゐる。かの歐洲大戰後二十年を經て、世界はいま大戰前夜のやうな雰圍氣に包まれてゐることを否定出來ない。現實の戰爭は何處にも行はれてゐない、しかしそれが果して回避され得るものだと斷定し得る者は誰もゐないであらう。いつ來るか知れないものに對して、列國は常に準備して置かねばならぬ實狀にある。したがつてその準備を整へることが、むしろその勃發を避け得るための一つの方法であるとさへ考へられる平衡的に充實した備へがあつたために、エチオピア問題、スペイン問題が局地的なものとして濟み得たとも見られる

二

滿洲事變の前後から、日本もそのやうな準戰體制の段階に進み來つてゐる。事變がすでに一つの前進を劃し、これにつゞいて軍事、政治、經濟財政、産業、社會政策等は、悉くこの新しい體制へ向つての改變を推し進められて來たのであつた。それは別の表現では廣義國防、また綜合的國防と言はれ來つたものであるが財政制度のうへに於いてもかゝる準備はなされつゝあると見ねばならぬ。制度に於ける中央集權の强化、財源の中央集中の傾向などがそこに指摘出來る。公債消化の範圍を擴張せしめること、地方銀行の合同を促進すること等もこの基本的なコースに沿ふものに外ならぬ。産業政策にあつては、第一に原料の自給策確立がある。燃料殊に液體燃料の補給策と鐵鑛資源並に製鐵能力の擴充等はその瞭然たるものである。電力の國營問題もこの見地こそが最も重要視される點である。産業資本家に對する過當利潤制限問題、重要産業統制法の公益規定の强化等もこの性格を色濃く負ふものである。

三

かゝる體制の維持伸長を可能ならしめるために、國民生活の安定向上がはかられねばならぬことは、必須的な條件である筈である。それは種々の國策が宣傳される場合にもつねに取り上げられて說かれてゐる。しかし仔細に檢討すれば、現在の財政經濟政策は必然に國民大衆の生活を困難に導くやうなものがないとは言へぬ。その體制は綜合的であることを要するのである民力の基礎がそれには確立してゐなければならぬ。大衆生活の窮乏を傍視することは出來ぬのである。生活安定の具體的政策をどのやうにして、基本的な政策の進展に併行せしめるかは最も困難な課題である。しかしそれは效果的に、適切な方策を探つて遂行されねばならぬ。

## 滿洲國陸上競技器具 檢定規則發令 競技界の充實を期す

さきに球類に對する檢定規則を發布して滿洲國運動競技界の本格的向上發達に努めつゝある滿洲體育聯盟では第五回滿洲帝國體育大會の開催を間近に控へ、今回陸上競技に關する器具檢定規則を發令し東洋體育大會オリンピックと來る可き國際競技會に對する滿洲國競技界の充實を計る事となつた

陸上競技器具檢定規則

第一條　使用器具の檢定を受けんとする者は、其の種類數量をしたゝめたる書類に手數料全額を添へ提出すべし但し一度受領せる料金は如何なる理由あるも返付せず

第二條　毎月第一水曜日を檢定日とし、本聯盟所定の場所にて檢定に應ず、但し前日迄に屆出なきもの手數料金全額未納のものに檢定せず

第三條　緊急に檢査を要するもの、其の他特に事由あるものは右期日外にも檢定に應ずる事あるべし、但し此の際の檢定費用は檢査を受くる者に於て全額を支拂ふものとす

第四條　檢定には檢定委員會委員二名迄の立會を要す

第五條　檢定の手數料は全て一箇十錢とす

但しハードルは一個五十錢繼走用「バトン」は四本一組を一箇と看做す

附則

一、本規則は康德三年九月一日より之を施行す

一、本規則は康德四年三月三十一日までの暫定規則とす

一、康德三年度は新京運動商組合加盟の商店に限り檢定を行ふものとす

## 第五回滿洲體育大會 新京陸上豫選 西公園で

第五回滿洲體育大會陸上競技新京豫選會は來る六日午後一時から西公園競技場で擧行されるが、現在參加申込男女約百三十名に達し盛會を豫想されてゐる、なほ本競技から男女選手の登錄制を採用し出場選手は今後新滿洲國選手として對外競技等にも出場する事となつた、當日の競技種目及び開始時間は次の通りである

▲トラック

百米豫選（一時）八百米決勝（一時十分）女子六十米豫選（一時三十分）四百米障碍決勝（一時三十分）百米決勝（一時四十分）千五百米決勝（一時五十分）二百米豫選（二時）女子百米豫選（二時二十分）五千米決勝（二時三十分）二百米決勝（二時四十分）女子百米決勝（三時十分）一萬米決勝（三時二十分）女子八十米障碍（三時三十分）四百米決勝（四時十分）四百米（四時二十分）

▲フィールド

棒高跳、圓盤投決勝（一時）走幅跳、砲丸投決勝、女子圓盤投（一時十分）走高跳、女子走幅跳決勝（一時四十分）女子砲丸投決勝（一時五十分）女子走高跳、槍投（二時三十分）三段跳（二時四十分）女子槍投決勝（三時二十分）

午後一時から新京西公園競技場で開催されるが種目左の如くである

▲百米競走▲圓盤投▲走巾跳▲四百米競走▲砲丸投▲千五百米競走

## 大學野球リーグ 日割決定

【東京國通】待望の東京大學野球リーグ戰は愈よ十二日早帝、法立各一回戰を皮切りとし十月卅一日並に十一月一日の豪華版早慶を殿として秋色豐かな神宮球場で華々しく開幕される事となり、三日午後同聯盟より全試合日割を次の如く發表した

九月十二日　九月十三日　九月十九日　九月二十日　九月廿六日　九月廿七日　十月三日　十月四日　十月十日　十月十一日　十月十七日　十月十八日　十月廿四日　十月廿五日　十月卅一日　十一月一日

早帝一回戰　法立一回戰　法立二回戰　早帝二回戰　慶明一回戰　帝立一回戰　帝立二回戰　慶明二回戰　慶立一回戰　明法一回戰　明法二回戰　慶立二回戰　法早一回戰　帝明一回戰　帝明二回戰　法早二回戰　法帝一回戰　早立一回戰　早立二回戰　法帝二回戰　明立一回戰　帝慶一回戰　帝慶二回戰　明立二回戰　早明一回戰　法慶一回戰　法慶二回戰　早明二回戰　早慶一回戰　早慶二回戰

## 使節野球團 第一戰に敗る

【東京國通】日滿交驩野球使節奉天實業野球團の東部に於ける第一戰對早大新人戰は三日午後一時から戸塚球場に於て奉天先攻で開始、結局十一A對二で奉天大敗した閉戰二時五十分、スコア左の如し

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 奉 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 早 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 3 | 4 | A | 11A |

▲バッテリー　奉天　松尾—中村　早大(新)　酒井—小楠

## 滿洲帝國武道會主催 全滿武道大會 來る二十三日開催

滿洲帝國武道會主催の第三回全滿武道大會は來る二十三日午前九時から新京大經路兩級小學校講堂に於いて開催されることとなつた、大會規定は柔劍道とも左の如くである

▲團體試合

一、試合方法　トーナメント式に依る

二、出場人員　選手五名、補缺一名、監督一名

三、出場資格　滿洲在住のものとして四段以下

四、勝負方法　選手、補缺共六名を以て自由に變更を認め五名を以て決す

柔道　一本勝負點取とす、但大將は一點五分とす、同點なるときは代表者を以て決す、代表者は二名迄とし尚引分のときは抽籤とす

劍道　三本勝負點取とす、但勝者數を以て決するものとす

五、柔道試合時間　大將七分　副將以下五分　代表決戰は七分とす

▲個人試合

一、試合方法トーナメント式

二、出場資格　滿洲在住のものにして段に制限なし尚團體に所屬せざるも可とす

三、柔道一本勝負　劍道三本勝負　但柔道は試合時間七分、引分のときは三分延長、尚引分のときは抽籤とす

一、賞品

一、團體優勝　武道會賞（準優勝は武道會賞）

二、個人優勝　總理大臣盃　武道會賞（二、三等は武道會賞）

三、參加章「バックル」を全員に交付す

一、申込期日　康德三年九月十五日

一、申込場所　國務院總務廳秘書處內　滿洲帝國武道會宛

## 竣工近き 特別市立病院

昨年八月以來實業部廳舍横に大同組の施工の下に工事を急ぎつゝあつた特別市立病院の新築工事は一年の日子と六十萬圓の工費を費してこの程略々完成、愈よ來る九月十四、五日頃竣工式を擧行する運びとなつた、この市立綜合病院は地階共五階、鐵筋コンクリート建で、病床數は二百五十、醫師二十名、看護婦約六十名を擁し、內科、外科、耳鼻科、眼科、皮膚科、産婦人科、レントゲン科等の各科が揃つてゐる外地下室には空襲避難所を設置してゐる（寫眞は完成近い市立病院）

## 滿洲國にも"花嫁學校新設" 日滿社會事業大會で計畫

【東京國通】日滿兩國の親善提携を圖る第三回日滿社會事業大會は滿洲國民政部の主催で今月十日から十二日迄新京で開催され我國からは私設社會事業團體聯盟常務理事丸山鶴吉氏を始め東京始め全國の社會事業團體代表百十餘名が出席、日滿兩國の提携について協議するが特に滿洲國に於る花嫁訓練所の設置と職業紹介法の施行が中心問題でその結果は各方面から大に期待されて居る

滿洲國への花嫁は現在東京を始め各地で計畫されて居るが折角滿洲へ花嫁御寮を送つても同地には親身になつて世話してくれる機關がない爲めはかゞゝしく發展せず惱みの種となつて居るに鑑み同大會を機に滿洲國內に花嫁訓練所を設け我國からの花嫁をどしゞゝ同訓練所に入れて養成しやうと計畫されて居る之と同時に職業紹介所を整備し同國發展の礎としやうといふのである

## 滿洲小野田洋灰 開業式擧行

連京線泉頭に滿洲小野田洋灰股份有限公司の建造の工場は去る三月末竣工、運轉を行ひ爾來順調に操業中であるが、來る十三日を期し盛大な開業式を擧行することゝなり日滿各界に董事長笠井眞三氏から招待狀が發せられた、新京からは午前七時發の列車で行けば式典に間にあひ、同日午後七時十五分歸京出來る

## 滿洲馬調査研究に 農林調査班來滿

農林省では第一次馬匹改良事業を完成し過般馬政局を新設第二次改良事業計畫に着手することゝなり、滿洲事變以來蒙古馬の實用化、改良等が重視されて居るので陸軍當局と協力して種々研究を進めて居るが、今回農林技師三宅三郎、種馬所技師川村太郎次、馬政局技師園田三次郎の三氏を滿洲國に派遣蒙馬狀況、改良事業の實狀並びに仔馬の放牧狀態を調査研究せしめる事になり一行は三日東京發渡滿の途についた

## 中等學校映畫教育聯盟規約役員

既報在京中等學校映畫教育聯盟の規約、役員および十一年度事業計畫案は次の通りである

△聯盟規約

第一條　本聯盟は新京所在滿鐵中等學校（中學校、商業學校、敷島高女學校、錦ヶ丘女學校）を以て組織す

第二條　本聯盟に左の役員を置く主事一名、委員各校一名、主事は各學校長輪番にて之に當り會務を統理す、委員は各學校長に於て之を委囑し第三條の實務を掌る

第三條　本聯盟は左の事業を行ふ

一、毎學年始めに會合して購入映畫を選定す

二、興行映畫の鑑賞其他映畫利用に就ての交渉選定

三、映畫利用の教授法研究會開催

四、教材映畫の共同製作

五、映畫教育に關する調査研究

六、其他學校映畫に關する一切の事項

第四條　本聯盟の映畫は各校の經費に應じて選定購入し各校別に所有分管するものとす

第五條　各校は毎年出來得る限り百圓以上を教材映畫購入費として支出するものとす

第六條　本聯盟の映畫は購入の都度相互に通知して豫め作製し各校に分配せる目錄に登錄し貸借利用に便す

第七條　映畫の貸借は各學校委員責任を以て之に當るものとす

第八條　本聯盟の事務所は主事の所屬する學校內に置く

△十一年度聯盟役員

主事　商業學校長　赤塚吉次郎

委員　中學校教諭　元山常雄

同　商業學校教諭　白石擧

同　敷島高女教諭　松本五郎

同　錦ヶ丘高女教諭　岩田達雄

△十一年度事業計畫案

一、本年度に購入する映畫の選定會議

二、關東軍、文教部、協和會、電業會社其他滿洲國官廳に所有する映畫の種目、標準型映寫機の調査（本聯盟に利用のため）

三、常設映畫館の利用方法研究

1、映畫教育に對する常設館側の理解

2、聯絡方法

3、料金の問題

4、許可せざる映畫に就て生徒の取締問題（其他常設館に對する希望等に就いては聯盟役員が連合して各常設館と懇談する

四、映畫利用の教授法研究會開催當番校　商業學校其時期　第三學期始

## 室町高等科生 吉林へ

新京室町小學校高等科一、二年生百名は吉林に秋季遠足を試みることゝなり、溝淵首席訓導外二名に引率され四日午前七時二十分發列車で喜々として出發した、歸校は同日午後七時十分の豫定

## 額田博士講演

醫學博士理學博士額田晉氏の「科學的人生觀」と題する講演會は三日午後七時から白菊町會館で開催されたが非常な盛會であつた、なほ同博士は四日離京に際して新京福祉委員助成會に金一封を寄附した

## 協和會歌 懸賞當選發表

全滿主要新聞紙上で懸賞募集中の協和歌は漸く審査を終へ四日左の如く發表された、應募歌は日文二百九十三篇滿文百五十九篇あつたが、遺憾乍ら會歌として採用すべき名篇なく、日滿文各二等宛が選定される事となり、會當事者は「一般大衆が協和會の本質を理解せず聊か期待を裏切られた感がある」と殘念がつてゐる當選者氏名並に日滿文首席歌左の如し

△二等當選　新京羽衣町三、一四ノ三　重園雄

一、燦たる行手黎明の美しき國こゝにあり大旆の下圖衆の五族の幸に搖ぎなく王道の惠光地に暢べんおゝこの理想の行手高き使命のおゝ協和會

二、確たる精神建國の滿洲の基こゝにあり闢け潔き東の不斷の道德に先驅けて共榮の樂土地に布かんおゝこの理想この精神重き使命のおゝ協和會

三、漲たる生命邁進の溢るゝ力こゝにありいざ强く起て僚友よ僚友東亞の永劫に大同の平和打ち樹てんおゝこの理想この生命選ばれしものゝ協和會

（二等當選）奈良縣高市郡八木町七八ノ一　松本武城

（同）奉天紅葉町五六航空廠官舍　高灝麗

（二等當選）國務院情報處　胡苑

一　和平之光現東方　滿洲建新邦　順天安民有聖主　盛世擬陶唐　民族協和無偏黨　王道自蕩蕩

二　郁乎交哉我東方　源遠復流長　尊孔崇孟倡禮讓　四維得以張　民族協和無偏黨　王道顯宣揚

三　世界平和始東方　滿洲發光芒　睦鄰修政建樂土　國勢日隆昌　民族協和盡兄弟　王道得重光

四　平和曙光露東方　舉世歡若狂　一心一德策群力　國運慶無疆　民族協和盡兄弟　王道信輝煌

（二等當選）チチハル西站榮茂胡同五　平山大雄

（三等當選）軍政部軍事調査部　張靖宇

## 丁香廬隨筆（六）

### 國營官業の得失（三）

五錢の煙草を二十錢に賣つて國庫に莫大の收入を得せしめた日本の專賣局は日本國民を物質的にも世界最大の愛國者たらしめたとも云へるが然し國內消費のみならぬ海外貿易に依りて東洋全市場から得る多年の利益と比べたなら物の數でもあるまい、此の點日本人は餘り愛國者とも云へぬことにもなる。

×

又一方考へて見ねばならぬことは自己の業務に對する這般の熱心執奮は單に資本主義なる名の下に概念的に片付け得るであらうかとの點である、成功し勿論金はもうけ度い、大富豪になり度い、資本主義的考慮は有つたに違無いが、單に其丈けでは自己の製品を飽くまでも善くし度い、外國品に負け度く無い、其爲めに命がけの難行苦行も辭せぬといふ大勇猛心が湧いて出る筈はない、恐らく此れは眞の藝術家が自己の藝術に命掛けで精進する、其の心境に類したものでは無いか、若し然らずして資本主義的利慾の一念よりして此の如き原動力が生ずるとするならば余は寧ろ資本主義を歡迎する。

×

我國の專賣局長官は國家の任命した政府の高官であり、その君國民人に對する忠誠の念は村井兄弟に勝るとも劣るものでは無く又其職務にも恪勤な人々のみであらう、然し其の職務に熱心なるの餘り煙草の葉を嚙んで一枚の齒でも失ふたといふ專賣局長官は一人でも居るか、余等寡聞と雖もまだ此れを聞かない。然しよく考へて見ればこんな馬鹿げた必要も無ささうだ、外國の優良品は高稅で排擊する、山陽線には稅關のスパイを放つて密輸を嚴戒する、五錢の煙草を二十錢に賣ふと三十錢に賣ふと勝手であつて飛ぶやうに賣れる、專賣局長官たるもの何を苦んで其の最愛の妻君の前に己の大事の齒を犧牲にする必要があらうぞ。

×

國內既に此の如し、國外は如何といふに專賣局の分身なる滿洲の「東亞煙草」が消極退嬰其物の營業方針を如何に堅持し來りたるかは氣の毒な程多くの實例を知つてるが。これは日本の營業方針を反映した當然の歸結で茲には省く。要するに資本主義排擊可なり其是正も結構であるが、其れを實行する前に本來なら日本の役人共の頭を改造する必要が御座らう、其れが急に出來ぬなら資本主義にもよい處がある、その長所を極端に生かして貰ひ度い。一言にして云へば角を矯めて牛を殺すなと申すのだ。

## 對四平街滿鐵陸上競技會

滿鐵運動會四平街支部對新京支部陸上競技對抗試合は六日

## 增築工事完成の康德會館

昨秋より增築工事に着手中であつた三菱康德會館はこの程舊館の一倍半に近い建坪約三千四百坪（室數二百室）の增築を完了、十月頃竣工式を擧げることゝなつた、今回の增築工事が完成すれば康德會館の總建坪は六千坪、室數三百五十となるわけである（完成した康德會館）

## 日赤新京支部 役員協議會

日本赤十字社新京委員支部長中野高一氏は曩に委囑した社員總會役員に四日午後一時から日滿軍人會館に集合を求め分擔事務の務部に亘り協議した

## ハイラルの電々廳舍新築

ハイラル電々會社では最近著しき增加により業務次第に繁忙を極め電話加入數も六百餘に增加したので電報電話局舍を合併中央大街目貫きの場所に約二十萬圓の豫算で新廳舍を建設約四十萬圓の豫算で自動電話の設備を計畫してゐる本年中に大體準備を完了明年度實現の豫定である

## 商況欄（九月四日後場）

### 株式相場

▲大連株式（短期）

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 五品 | 一五、九〇 | — |
| 豆新 | 二、三〇 | 二、三〇 |
| 錢鈔 | 一五、三〇 | 一五、三〇 |
| 東新 | 一三五、九〇 | 一三五、八〇 |
| 滿鐵 | 六三、七〇 | 六三、七〇 |
| 二新 | 三九、八〇 | 三九、七〇 |
| 日產 | 八一、五〇 | 八一、三〇 |
| 鐘新 | 一六五、〇〇 | 一六四、六〇 |

▲奉天株式（短期）

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 滿取 | 一三五、八〇 | 一三五、八〇 |
| 東新 | 六八、六〇 | — |
| 大新 | 八一〇、八〇 | 八一、三〇 |
| 日產 | 一六四、八〇 | 一六四、五〇 |
| 鐘品 | 一六、〇〇 | — |
| 五新 | 二一、七〇 | — |
| 豆新 | 四〇、〇〇 | — |
| 二甲 | 三七、八〇 | — |
| 電拓 | 三五、〇〇 | — |
| 東興 | 二六、八〇 | — |
| 滿毛 | 二〇、三〇 | — |
| 滿請 | 二〇、三〇 | — |
| 優先 | 七〇、四〇 | — |
| 石智 | — | — |

### 各地商品市況

▲横濱生糸　前引　寄　後

| | |
|---|---|
| 現物 | — |
| 當限 | 六五五、〇〇 |
| 先限 | 六五五、〇〇 |

### 手形交換高（三日）

| | | |
|---|---|---|
| 金票 | 一三〇六枚 | 一八、九九六、二六七 |
| 鈔票 | — | |
| 國幣 | 一三〇枚 | 二七二、九七六 |

### 新京取引市況（九月四日後場）

現物（一石値段）　寄　引　出來高

| | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 大豆 | — | — | — |
| 高粱 | — | — | — |
| 小豆 | — | — | — |
| 玉蜀黍 | — | — | — |

定期（混合百斤値段）

| | | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|---|
| 大豆 | 九月限 | 七、八五 | 七、七二 | 二車 |
| | 十月限 | — | — | — |
| | 十一月限 | 五、六五 | 五、六五 | 七車 |
| 高粱 | 九月限 | — | — | — |
| | 十月限 | — | — | — |

### 鮮魚小賣相場（四日）

百匁に付

| 品名 | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 活鯛 | 一九二 | 一〇八 |
| 氷タイ | … | … |
| 中子鯛 | … | … |
| 連子鯛 | … | … |
| チヌ鯛 | 五八 | 二六 |
| アマ鯛 | … | … |
| イセエビ | 八四 | … |
| 車エビ | 一五〇 | … |
| ブリ | 三〇 | 二四 |
| ヒラス | 四四 | 四二 |
| マナガツオ | 六二 | 一〇 |
| 黒鯛 | … | … |
| マグロ | … | … |
| カツオ | … | … |
| サハラ | 三二 | 三二 |
| 赤ムツ | … | … |
| イワシ | … | … |
| ニベ | 一七 | 一六 |
| サバ | 二四 | 一九 |
| アヂ | 一七 | 一四 |
| メバル | … | … |
| ヒラメ | 二九 | 八 |
| コチ | 一六 | … |
| コノシロ | 二八 | 二四 |
| ホウボー | … | … |
| ボラ | … | … |
| キス | 三六 | … |
| サヨリ | … | … |
| タコ | 四〇 | 二四 |
| カニ | … | … |
| 小エビ | … | … |
| カレイ | … | … |
| タイラ | … | … |
| 甲イカ | … | … |
| アワビ | 七二 | 五八 |
| クロナマコ | … | … |
| 貝柱 | … | … |
| シジミ | 八 | … |
| ハマグリ | 八 | 六 |
| カキ | … | … |
| ウナギ | … | … |
| ニベ同 | 二八 | 二五 |
| ブリ | … | … |
| サハラ | 六五 | 三四 |

# 緬羊國策の花形役者 ハイラル洗毛廠

ハイラルにて 杉山生

夕の祈禱を捧げる平和な教會の鐘の音に送られつゝ遊びつかれた家畜の群が背に夕陽を一ぱいにうけ乍ら家路に急ぐ頃濤洗「伊敏川」のほとりに繁る川柳に立ちこめた夕靄をふるはして一團のロシヤ娘の民謠だ、明日の天氣を氣遣ひ、唯無心に芝生に擴げられた羊毛を裏返し乍ら歌ひ續ける、詩人ならずとも旅愁をそゝられる情景である

斯うした情景の中に蒙古各地から集つた未だ羊の臭ひのする原毛は一切彼女等の優しい手によつて分類、洗毛、乾燥裏返し、取入れ仕上げ、分類と手際よく運ばれ工場の片隅にみるみる中にうず高く積み上げられると、巨大な壓縮機が物凄い力で眞白い綿の樣な羊毛をギシャギシャとしめつけると間もなく一米立方程に四角な塊となつて吐き出される、遠いヂンギスカンの夢とロシヤ娘の觸感を南京袋に一諸に詰められた蒙古の女王は「フロム・マンチウクオ」と大きなスタンプを押捺され米國行の荷札がつけられて一切が完了する

□

ハイラル洗毛廠は昨年北鐵接收と同時に總局の手に歸し、實際總局の事業として開去されたのは本年が初めてゞあるが、滿洲羊毛問題滿洲國の緬羊五ヶ年計畫等で寶庫ホロンバイルの羊毛を背後に有つてゐる關係上一躍花形役者となつてデビューしたものである現在滿洲國內の洗毛廠と稱するものは奉天滿蒙毛織のそれとハイラル洗毛廠だけであるが滿蒙毛織は自家用の範圍を出でず、結局本格的に國策的立場から將來を囑目せられて居るのはハイラル洗毛廠だけと言ふ緬羊國策の掛聲に跛行的な貧弱さであるが、又それだけに世人の關心を此處に集めて居ると言ふ事にもなる、現在從業員全部で百五十人を使用、日、滿、蒙、露人をとりまぜ各人種各樣の能力に應じて仕事の分野を決め色とりどり五族協和を地で行つてゐる、今が羊毛出廻りの最盛期であるため日夜兼行文字通り二十四時間ぶつ通しで作業を續けて作業を續けて居る。洗毛順序は先づ原毛持込（一日約三百袋二百キロ）を檢收しその原毛はフリーズ、中片、小片、色分けと言ふ具合に大別し洗毛の後フリーズは針金につるし、中片は網臺にのせ小片は芝生の上に乾燥せしめるのであるが、流石に廣い一萬五千坪の乾燥場は足の踏場の無い程眞白に敷きつめられて居る、側のロシヤ娘の裏返しが濟んで完全に乾燥すると取入れを行ひ再び仕上げ分類の作業の後たくましい滿人のヨイヨホイの聲と共に壓縮梱包され檢斤押捺、保管發送となるのである、一日の洗毛量約千プード仕上げ十八噸の平均である、藤井同洗毛廠主任の談に依れば

海拉爾羊毛は非常に品質が惡いと聞いて居たが中には三河及び外蒙國境方面から出るもので非常に良質のものがある、明年度からは品種改良の意味から洗毛廠で準官營式に檢査の上格付し買付價格を高め樣と思つて居る、目下蒙政部でやつて居るメリスー改良の一助にもなる事である

優良種の頭數は全部の約六分の一とみて、全ホロンバイルで二十萬頭ゐる譯だから卅ヶ年計畫は十五年で遂行出來ることになる現在ホロンバイルで産する殆ど全部の美毛は米國に輸入されてゐるのは日本の加工業が劣勢である事を物語つてゐる、粗毛、死毛が多くとも、スコッチ服地等には充分使用出來る、だから研究の上年々莫大な外國輸入羊毛を少しでもホロンバイル産に依つて代替せしめる事が焦眉の急である、明年度計畫としては更に強力なるプレス機械を据付けて能率の增進を圖る一方廠でフエルトを製造し、家内工業の奬勵の意見からホームスパンの製造に着手する事となつたと語つてゐたが、更に從來惡辣な滿人不良仲買商人に依つて爲されてゐたフエルトと原毛の物々交換、之等不良商人に依つて爲されてゐた原毛中に小便、水、小石を混入して貫目を增したりする詐欺的賣買を禁止し買付の統制を圖り大局的な國策に立脚し現在市當局によつて課せられつゝある羊毛一噸に對する消毒手數料金十七圓の高額は多分に他地方への流出を招く虞れがあり、將來大局的見地に立脚その集散地統制の見地から改正を考慮すべき問題であると痛感した、現に本年度出廻りは豫想の約七掛に過ぎず、約二十萬プードは平齊沿線地方に流れたものとみられて居る

# 消組法制定要望の件 實業協會 總會に提出

## 官吏消組との紛爭解決の爲め、

【奉天國通】滿鐵消費組合並に滿洲國官吏消費組合は全滿主要都市の消費組合網を整備し、その機能は强化されつゝあるが、一方之がため滿洲商業界は少からず打擊を受けてゐる、卽ち昨年五月官吏消費組合と、滿洲商工會議所聯合會との間に締結された販賣品協定は一種の紳士協定であつて、不履行を糺す强制力なく今日に至るも種々紛爭を繰返して居るが、右は滿洲商業界の前途に暗影を投ずるものとして、滿洲日滿商業團體聯合會では來る十五日より新京に於て開催される日滿實業協會定期總會に販賣品協定を根幹とする消費組合法制定要望の件を提出善處を求める事となつた

## 哈市公署で 各小學校に 校醫設置

【ハルビン支局】從來滿人小學校兒童の健康增進、衛生觀念の普及、徹底に關しては一般的には放任の狀態であり、此のまゝ放置する時は新國家發展上由々しき問題を齎すものとして各方面より之が實行を要望されてゐたが、今回市公署教育科にては市內全小學校に校醫を設置し、以て兒童の健康增進衛生思想普及を計ることゝなつた

## 牡丹江鐵路局長に 山口次長有力 轉出者は十五日頃正式發表

【奉天國通】十月一日から開設される牡丹江鐵路局人事配當に關しては同鐵路局の交通並に國防上の重大性に鑑み愼重に詮衡を進めてゐるが開設準備の都合上豫定を早め十日前後轉出者に對し內命を發し十五日頃鐵路局全般に亘る人事異動と共に正式發表の豫定であるが 新鐵路局長は山口滿鐵々道部次長の轉出が有力である

## 北來好匪を 覆滅

【吉林國通】去る卅一日敦化東方四粁東臺子溝の集團部落に北來好匪現はれ農民一名を拉致逃走せりとの報に同地〇〇隊長山口軍曹以下〇名は自衛團〇名を併せ指揮し該匪追擊中同日午後二時半頃に至り向龍帽子に於て匪家三軒を發見北來好匪二十名と交戰三十分にして之を南方に擊退した本戰鬪に於て右人質を奪還し更に被服、食料、阿片等多數を鹵獲した更に新站脇谷大尉以下〇名は二十九日以來新站東北方意氣溝附近の密林中を討伐中であるが三十一日正午頃平日軍の根據地を發見し第三隊約三十名を包圍攻擊し匪家五軒を覆滅し人質一名を奪還、隊長萬順以下二名を斃し小拳銃、同彈藥其の他阿片、食料、衣類、書類等多數鹵獲押收したが我方には損害は無かつた

# 啓東煙草公司が 原料葉を栽培

## 愈よ三縣下の調査に乘出す

【奉天國通】當地啓東煙草股份有限公司では從來原料煙草は大部分アメリカ及び山東から輸入してゐたが、同公司では今回滿洲産の煙草を使用する計畫を樹て軍、滿鐵の贊同を求めて煙草栽培に最も適してゐる錦州、本溪、朝陽三縣下に調査員多數を派遣、目下調査中であるが、滿洲に於る煙草の七十パーセントを賣出してゐる同公司が滿洲産の煙草に着眼したことは國內煙草栽培發展の上から大いに注目に値する

## 奉天に於る 事變記念日行事

【奉天國通】九月十八日の事變記念日も目睫に迫り、日滿兩國擧げて各種記念事業の準備中であるが奉天では九月十七日學生に對する記念講演、一般に對する記念講演、十八日報告祭午前八時奉天神社にて、市中大示威行進、慰靈祭午前十一時忠靈塔にて、傷病兵慰問、戰跡マラソン、柳條溝記念碑建設地鎮祭、旗行列記念祝賀會、花電車の運轉、各戶、自動車、馬車、洋車等に國旗掲揚、アーチ建設、花火打上げ、默禱等を行ふ

## 哈市防空演習 準備進捗す

【ハルビン國通】滿洲事變記念日をトしハルビンを中心に擧行される大防空演習は實に沿線百五十キロ十九縣旗の廣大な地域に及び、地方監視哨百卅ヶ所を設置する前例のない大規模なものであるが、之が爲省防護團本部では軍指導員と協力、各縣に保甲長以下縣要人等を招集し敵機襲來に際しての警備通信報道の訓練を連日の如く實施してゐるが來る九日迄には大體の豫行演習を完了する見込で愈よ本格的防空演習擧行の際は警報豫報機關としての地方監視哨を總動員し萬全を期する筈である

## 熱河建平縣下に ペスト

【承德國通】朝陽を去る東北四十邦里の熱河省建平縣二道溝にペスト患者發生し三日までに十數名の死亡者を出してゐる、同地は昨年もペスト流行し百三十名の死亡者を出してゐるので當局では必死の防疫に當つてゐる

## 一龍齋貞山師 皇軍慰問に 來滿

【大連國通】松岡滿鐵總裁は第一線に不自由を忍び乍ら治安維持の重任についてゐる皇軍將士を慰めるためこの度講談師一龍齋貞山師を滿洲に招聘する事となつた、同師は今月五日來連、約四十日間に亘つて僻地に無聊をかこつ兵士達に得意の熱辯を聽かせる筈であるが、今迄のあり來りの浮薄なレヴユー音樂等と違つて忠勇義烈節婦美談等人情味溢れた講談は乾き切つた兵士等の魂に一掬の潤ひを齎らすだらう

## 「吉林ライン」の 秋色を探る

【吉林國通】豫てよりスンガリーに圍まれた水鄉吉林の宣傳に努めつゝある吉鐵で吉林鶴飼宣傳映畫撮影のため目下來吉中の總局弘報係の乞を容れ三日新秋の松花江所謂「吉林ライン」をモーターボートにて遡航し兩岸の秋色豐かな風光をカメラに收めた（カメラは滿洲局郵局の記念スタンプ、吉林）

# 新興滿洲帝國と 在滿在鄉軍人（五）

## 關東軍參謀から

### 四、滿洲國の現狀（下）

3、滿洲國の對外關係は、國際聯盟の議決に拘束せられて、之を正式承認せる國は尙僅少であるが、國內の整備、國力の進展に伴ひ、實質上承認の形を採る國は、逐次增加しつゝある。

對外關係の主なるものは、對蘇國境紛爭問題であつて蘇聯邦（外蒙を含む）の對滿不法行爲は、本年一月以降五月末迄に、一〇七件の多數に上り、其內、不法拉致行爲六九、飛行機の不法越境行爲一五、不法射擊九不法挑戰行爲九にして、特に、注意を要するのは、不法挑戰行爲、及飛行機の不法越境行爲の增加せる事實である。しかし之を以て、日蘇戰爭の如き大事態が、俄に惹起するとは判斷し得ないが、周知の如く、蘇聯邦の極東兵備は、逐次、增加せられ、今や其兵力二十數萬に上り、飛行機、戰車の數亦各千臺を越え、作戰資材も亦、相等整備せられて居るから、苟も、我國防上に缺陷あるに於ては、何時如何なる情勢に、立ち至らぬとも限らぬ。國境地帶蘇國の要塞城を以て、單なる守勢的兵備なりと思考するのは、素人考へに外ならぬ又、帝政時代の極東侵略政策は、帝政の覆滅により、一應清算せられたるが如きも、それは國力の不十分な時代の、一時的現象に過ぎず、現時國力の恢復增强に伴ひ、再び、往時の積極政策に轉換してゐるのは、見逃し得ない事實である。民族の特性たる蘇聯の侵略癖の如きは政治形體の一時的變化の如きによつて是正せらるべきものではない。吾々は、日露戰役前に於けるロシアの東洋侵略を、明確に、再認識せねばならぬ、況や、蘇聯の根本政策は蘇聯を盟主とする、赤化世界の一元化であるに於てをや、換言すれば、蘇聯の根本政策は、世界を赤化して、悉く之を蘇聯の支配下に、置かんとするにあるから、武力、思想の兩者相俟つて、世界侵略の目的を貫徹せんとしてゐるのである近時、頻發する國境紛爭問題は、一見、滿洲國の施政漸次、邊境に及びたると、國境明確を缺くに依るようであるが、必ずしも、國境不明確による、些々たる偶發行爲なりとするを得ない見樣に依ては、偵察行爲であり、相接間接の、匪賊支援行爲でもあり、更に、其根本は、國力、就中軍備の充實に伴ふ、蘇聯侵略的態度の鋒鋩でもある。

現に、蘇聯は、赤化尖銳分子を滿洲國に投入し、或は中國共產黨を使嗾して、西南方面より、滿洲國の攪亂を企て、或は、資金の供給武器の補給による援匪行爲を行ふ等、有形無形の、反滿不信行爲を行ひつゝあるは、明白なる事實である。情勢、上述の如くであるから、我にして寸隙を與へんか、如何なる事態を惹起せぬとも限らぬ、我が軍備の充實、在滿兵力增加の必要に迫れる所以亦此處にある次に、對支關係であるが、北支には、昨年末、先づ、冀東地區に、殷汝耕を首班とする、親日滿の獨立政權樹立せられ、次で、宋哲元等の實勢力下に在る冀察地區、亦、之に學びて、自治的政權を樹立し、かくて冀東は、概ね、人民の搾取を事とする國民政府の羈絆より脫して、人民の安寧福祉と、親日滿とを政策とする政權の支配下に入り、極東民族の、共存共榮的大同團結の端緒を作り、且つ、防共協同戰線に立つまでに進んだ。

然しながら、冀察は、宋哲元一派の不徹底な態度により、未だ、獨立を宣するに至らず、裏面に於て國民政府と相通じ、完全なる親日滿政權たるに至らざるは、遺憾である。

翻つて、國民黨政權の一般情勢を觀るに、表には、防共を稱へつゝ、陰に、蘇聯と通じ、或は、英米借款に賴りて、對日滿經濟戰線を張り、或は又、對獨武器購入特約を結ぶ等、夷を以て夷を制するの常套的對外政策を踏襲し、依然、反滿抗日を事としあるは、光明亞細亞の爲、眞に、惜しむべきであつて、我が國としては、支那が反滿抗日の國是より蟬脫し、新時代の傾向に覺醒し、日本皇道の眞意を解しアジアの安寧幸福と親日滿政策とを國是とする政權となり、日滿支の大同團結を作り共存共榮、以て興亞の聖業に、邁進する日の、一日も速に來たらんことを切望する次第である。

# 家庭

## 思ひ當りませんか 不姙症の原因
### 姙娠率の强弱とビタミンE

昨今は避姙法が一つの流行現象として盛んに論議されて居ますが、皮肉にも欲しくて欲しくてたまらぬ愛の結晶のない悲しさに、袞れ味けなき夫婦生活を送つて居られる方が意外に多いのを見受けます。一體結婚して一年乃至三年位の間は一番

**（姙）** 娠し易い時期ですから三年も經つて未だ受胎しないとすると、これは一般に不姙症といはれる部類に屬するものです。尤も男子に精虫がないとか、女子に卵が出ない場合は別ですが結婚後二三年經つても子供のない人々には何か故障があり勝ちで、從ひ自分では全く障害がないと思つてゐても、專門家より見れば全く姙娠の可能性のない場合が可成り多くあります、此等不姙症の原因としてはいろ〳〵あるが

**（先）** づ處女膜の閉塞とか膣の缺損といふ樣なものは素人でも凡そ見當がつくが、子宮の缺陷などは一寸考へもつかないことです、中でも一番多いのは何といつても子宮後屈とか、過度の前屈とか云ふ子宮位置の異狀で或は喇叭管炎を患つた後に管腔が塞つて居る樣な時にも不姙症を起し勝ちです。又一見非常に丈夫さうに見えてその實子宮の發育不全のある場合もあります。その他淋毒に

**（感）** 染して子宮内膜炎などを患つた人には卵巢が喇叭管に故障を起してゐて不姙症に陷ることもあります、これらはいづれも精虫や卵の通路に故障があつて通過が出來ないとか、通

過して着床することが出來なくなつて不姙症になるのです以上申し上げた通り不姙症の原因は種々雜多で、一々その人に對する原因を確めて治療することが必要ですから一日も早く專門醫の診察をうけられることが何より安全です。

**（最）** 後に大切なのはビタミンEの關係です。ビタミンEは姙娠ビタミンとか生殖ビタミンとかいはれるもので、之れが人間の身體に缺乏すれば姙娠率が非常に弱くなり、又姙娠しても胎兒の發育が惡く流產を起し易くなるものです。此のビタミンEは御承知の通りチシヤや穀物の皮類等に非常に多く含まれてゐるものですから之れを常に攝取することは姙娠希望者には極めて大切であるといふことも御承知下さい

> △朝鮮の役の明の使節が豐臣秀吉の激怒にふれて追ひ返され、媾和談判の破裂したのが文祿五年（慶長元年）の九月五日でありました。
> △それから二年目、慶長三年の同じ九月五日付で、朝鮮にゐる我が諸將を召し還す書狀が發せられてゐます。
> △西南の役では三浦少將の官軍が鹿兒島の城下に迫つて薩摩軍を包圍してをりますのが明治十年の九月五日。
> △日露媾和條約に調印を了したのが明治三十八年の同じ日でした。
> △今日を誕生日とする人にイギリスの化學者ドルトン（西曆一七六六年）があります。

### お料理獻立
#### 太刀魚玉子蒸

これは太刀魚には限りませんお手近の白い身のお魚でお拵らへになりますと一寸目先きが變つてよろしうございますけふは太刀魚を例にあげて申上げませう。

【材料】（五人前）
太刀魚　五切
鷄卵　五ケ
酒、醬油、味淋、砂糖　少々宛
煮出汁　五勺
青味、生姜　少々宛

太刀魚の切身を味淋、砂糖、酒、醬油を合せた中へ漬けて上げ、中へ煎り卵に青味をまぜてつめ蒸し、薄あん、しぼり生姜をかけます。

## 夏から秋へ多くなる 耳の病
### 結局自分で作るのです

夏から今の季節にかけて多い耳の中のおできは外耳炎といふもので、耳の入口から鼓膜までに起る病氣です。どうして出來かといふと、この病氣ばかりは大抵自分で作る事が多いので、つまり耳に刺戟を加へる事からおできが出來るのです。よく竹の耳かきとかマッチの棒で耳をいぢくる人があるが、さういふ刺戟を與へる事が病氣を作る原因です又泳ぎやお湯に行つて汚い水が耳中に入ると耳あかゞとける爲に刺戟成分が出來て、耳の中の皮膚が單純な炎症を起します。刺戟がより强くなると、たゞれてくるか傷がつくので、その傷から化膿菌が入つておできになるのです。化膿菌もその毒力の强い弱いによつて又は體力の强弱によつて、病氣の弱度も異つてきます。この外耳炎は子供の場合はいたみが無いが、大人は時に鼓膜に近い部分に出來た時は堪へがたいいたみを數日間持續することがあります。腫れるのは耳の周圍にまで及びます。病氣の性質はさうわるくはないので、大して心配はありませんが、手當としては鎮痛のために內服するとか濕布を用ひるとかの處置をすれば宜しい。要は、耳の中のおできは自分で作るやうなものですから、やたらに耳をいぢらぬやうに注意しなければなりません。

## 秋の語源 ―と七草縁起

心無き野分が吹き荒る

△……一體 秋といふ語は今も昔も變りなく呼ばれて來た言葉に異ひないが、何故「あき」といふのであらうか、文獻に依ると秋は飽に通じ穀食飽き滿てる意とあつて日本の別名「大日本豐秋津州」も「千五百秋滿穗大國」もそれを意味してゐるといふ、勿論これには第二說第三說とあつて仲々解釋はむづかしいらしいが、穀物の不作凶作に拘らず秋が來ると虫が鳴き全野を秋草が彩り、

△……先づ 秋の植物として想ひ出すものは秋の七草であらう。この秋の七草は何時頃から愛賞されるやうになつたのか、その由來は明らかではないが七草は凡て古代から野生してゐたものを云はれて居り、「萬葉集に山上憶良の歌として「秋の野に咲きたる花を指折りかき數ふれば七草の花」として萩が花、尾花 葛花 女郎花藤袴、朝顏の花（桔梗のこと）瞿麥の花をあげてゐる。ところで、この朝顏の花とは何と云つたものか今でも定說がないのでハッキリしないが、要するにその當時には、所謂朝顏は未だ日本にはなく、初めて傳つたのは元祿の頃だとさへ云はれてゐるから萬葉集時代に朝顏の花が愛玩されたかどうかは頗る疑問と云はねばならない。

△……此ん な詮索はどうでもよいことであるが、この朝顏の花がいつの間にか桔梗になつてしまつてゐる。勿論此の他に秋草は多いのであるが、この七草が秋を代表して古來から詩歌畫材の中心をなしてゐるが、その中、秋の花は何と云つても七草の筆頭であるだけに典雅な情緖を持つ、特に宮城野の萩は有名であり、古來詩歌に歌はれてゐることは周知のことであらう。こんな詩情ある花も、お茶の代りに煎じて賞味するといふから

△……雅趣 もこゝまで來れば徹底したもの、尾花は今日の薄のことで、穗がよく出揃つて秋風に靡く樣は瀟洒とした感じがあるが、又別な目で見ると何んだか狐の尻尾の樣にもみられて。こうみると風雅も何も消し飛んでしまふが、然しいくら風雅でも往年流行した「枯すゝき」の俗謠の樣に世をはかなみ、捨鉢のになられても困る。春が來れば靑い芽も萌え出る。悲觀する前にすゝきの特質をよく考へれば三原山患者も治ろうものを、葛はその葉が秋風に吹かれる白とい葉裏が出て花の樣に見え、風雅である。それで葛は裏見（恨み）の緣語として詩歌に利用されてゐるが、この葛の根から上等な葛粉がとれる、近頃は相當インチキな

△……葛粉 となつて販賣されてゐるがこれこそ本當に恨みてもあまりあることであらう、それからぬか葛の蔓は亡靈の樣に長く延び十八里の長きに達するものがあるといふ、瞿麥の花は桔梗と共に七草のうちで最も色があざやかで姿もやさしく、女性の象徵とされてゐる。瞿麥の花を石竹と混同する者が多い樣であるがこれは間違つてゐる。女郎花もその名の示す如く優美なものであるが、その香は醬油の腐つたやうだと少し情けない、然しそれ程强烈でないからまあ我慢出來やう、產後の腰痛みに特效あるとは、名前に恥ぢない名花である。

△……藤袴 はその反對に香草として、有名で元祿時代のものが、モボモガの香水代りに袖の中に入れて使はれたといふ。今でも惡臭を消すのに代用されてゐる。

「旭日登天」 帝展彫塑部の大御所北村西望氏作

## 日日衞生相談

衞生に關する讀者の御質問に本欄を開放致します。「紙上衞生相談係」宛お問ひ合せ下さい 用紙は官製はがき

（問） 今年十九才の靑年です。しびれ脚氣の療法を敎へて下さい。相當重態です。（M生）

（答） 脚氣の治療に當つて最も重要なことは「ヴイタミン」B1を充分に攝取し體內に之が不足を補ふことです。從つて「ヴイタミン」B1を經口的に或は非經口的に充分に體內に攝取しなければなりません。

吾人の日常生活に於て常に「ヴイタミン」B1に富む食品を撰んで攝ることは脚氣の豫防に於ても亦治療に於ても最も必要なことです。精白米には「ヴタミン」B1は全く殘存してゐませんから「ヴイタミン」B1のある玄米、半搗米、胚芽米、麥等の何れかを主食とし副食物としては人參、馬鈴薯、玉蜀黍、牛乳、豆乳、鷄卵、バタ、豆腐、湯葉、トマト、レモン、キャベツ、ホーレン草、玉葱、大豆小豆、隱元豆、蠶豆、燕麥、胡桃、扁桃、牛肝臓、鰻等のものを撰びます。尙ほ「ヴイタミン」B1の製劑であるオリザニン、パラヌトリン、スペルゾン、ベリヲール、ネオビタミノール等の內服或は注射を行ひます、筋肉麻痺には電氣療法、マッサージ、硝酸「ストリキニーネ」の注射等を行ふのです。その他心臟衰弱には安靜を守り强心劑を用ひ便祕には下劑を用ひます。あなたの自宅に於ける最も重要な治療は食餌療法です（順天醫院長醫學博士小橋茂穗）

## 乳幼兒の離乳 ―はいまから始めよ

（三）

前にも言つた樣に長い間同じものばかり與へると乳兒も倦きて食慾を減ずる樣になるから種々季節に應じて野菜、魚肉など品を變更する事は勿論同一品でも味、形、色等も時々變へて子供の好むやうに調理する必要がある。

斯くして生後十三ヶ月頃になると日に牛乳一合、普通食三回母乳は夜間のみ一回與へ、其の後二三ヶ月の間に夜間の母乳も全く止めて離乳を完了するのである。

離乳の經過は大體以上の樣であるが之の間最も大切な事は一週に一度、又は二週に一度體重を測定して現在行つてゐる方法をより合理的にする事である。

又離乳は各個人に依つて一樣でない、特別の法を講じなければならん場合もあるから度診察の上決定すべきである。次に示す一例は、暑い夏で榮養狀態が非常に惡かつた爲やむを得ず離乳を開始しましたが幸に母親の努力に依り、成功したのであります。初めて來られた時は人工榮養で滿十一ヶ月にして漸く滿五ヶ月の正常兒の體重しかなかつた子供が適當な榮養法に依つて僅か三ヶ月の間に體重は三瓩の增加を示し遂に正常兒の體重に達した事は如何に離乳時に於ける食餌が大切であるかゞお解りの事と思ひます（關東局保健所桑野利雄）

＝左圖は乳幼兒の標準精神發育狀態＝

## 季節の草花 ―美しく育てるには―

▽……スイトピー、ルピナス、カーネション、ポータカーネションの種子を蒔くときになります、球根ではヒヤシンスグラヂオラス、グラヂオラスナナス、クロッカス、百合、水仙の植込みどきであります

▽……經驗家は種子を蒔くにも球根の植込をするにも土壤肥料、植込法をやかましく詮議したりしますが、さうした專門的方面からでなく、誰でも容易にやれる家庭園藝法をかきます。

▽……種子を蒔くには、土壤が濕氣を含んだときを選ぶがよろしい、即ち雨上りの翌日を選んで土を掘りこまかくしてこれを鉢に盛り鉢の底には貝殼を入れて底から水がよく流れ出るやうにします、鉢に一杯土を盛つたら表面から三寸位を掬ひとり、そこへ肥料をおきます。

▽……スイトピー、ルピナスには堆肥、カーネションには灰と糖を與へるが、其他のものには油粕を與へます、いづれも土五合に肥料五勺乃至一合の割合で混合し、それを敷き並べその上へ五分位の厚味に土をかぶせ、種子はその表面へ蒔くがよろしい、水は二日に一回位の割で少し與へ、同時に朝日に三の分か一時間當てるやうに心掛ます早いものは十五日、遲いもので一ケ月經てば大抵可愛い芽を出します。

▽……球根を植込むにはこれを雨上りのときを選ぶが肝腎です、種類によつて肥料は違ふが、どんなものにも向くのは油粕です、油子を原肥とするときには球根直接に與へてはなりません、土一升に約一合位を混ぜそれを一面に敷きその上へ薄く土をまき、球根をその上部へ植込む樣に工夫すること。

▽……但し土は球根の高さの三倍を超過しないようにくれ〴〵も注意を要しますつまり高さ一寸の球根なら、三寸以上土を乘せぬやうにうまく加減します。尤も土には比較的重いものと輕いものがあるから、その點から豫め心得て居り重い土なら二倍位に手加減する事も必要で、發芽は早くて二十日間普通は一ヶ月半かゝります。

## けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）五日（土曜日）



**朝**
- 六・〇〇 建國體操（大連）
- 六・二〇 ラヂオ體操（東京）
- 六・四〇 中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
- 七・〇〇 中等日本語講座（奉天）講師 近藤喜助
- 七・二〇 氣象通報（大連）
- 引續き 朝の音樂（大連）
- 八・三〇 經濟市況（東京）
- 九・〇〇 早晨演奏（大連）
- 九・二〇 料理獻立（大連）
- 九・四〇 經濟市況（大連）
- 一〇・〇〇 家庭講座 俳句の味ひ方作り方（四） 三木朱城
- 一〇・二五 家庭メモ
- 一〇・三五 經濟市況（大連）
- 一〇・四〇 經濟市況（東京）
- 一〇・五九 時報（東京）
- 一一・四〇 ニュース（東京・新京）

**晝**
- 〇・〇〇 經濟市況（大連・新京）
- 〇・二〇 晝の演藝（レコード）
- 〇・四〇 建國體操（奉天）
- 一・〇〇 白天演藝 奉天放送局新滿洲歌曲團 一、新滿洲歌曲 二、特別快車
- 一・一〇 ニュース（滿語） 外
- 一・三〇 成人講座 東洋文學史講話（三）長春兩級中學校教師 牟文毓
- 一・五〇 下午演奏（大連）
- 二・〇〇 經濟市況（滿語）
- 引續き 日用品値段（滿語）
- 二・五〇 經濟市況（東京）
- 三・〇〇 ニュース（東京・新京）
- 三・三〇 經濟市況（大連・新京）
- 引續き 競馬實況（滿語）＝新京賽馬場より中繼＝
- 四・三〇 ニュース・演藝（鮮語）
- 四・五〇 ニュース（英語）
- 五・〇〇 子供の時間（名古屋）お伽歌劇 鬼淸水 高橋きよし作詞作曲 鷹の羽お伽歌劇團 鷹の羽オーケストラ 指揮 高橋きよし
- 五・二〇 コドモの新聞（大連）
- 五・二五 氣象通報・番組豫告・ニュース（東京）

**夜**
- 六・〇〇 今晚の番組・官廳公示（滿語）
- 六・二五 政府公報
- 六・三〇 秋の蟲を聽く（大阪）＝奈良縣生駒山より中繼＝ 新秋の夕（仙台）＝仙台市外台ノ原牛冥想の松附近より中繼＝
- 六・五五 ラヂオヴアラエテイ 風流デパート 作並演出
- 八・〇〇 時事解說 成都事件に就て
- 八・三〇 時報・ニュース
- 引續き ニュース・經濟
- 八・四五 氣象通報・番組
- 九・〇〇 舊劇黃鶴樓（奉天放送局國劇團）
- 一〇・〇〇 北滿の時間（哈）

## 文藝

# 寛城子の空

奥　一

寛城子の九月の空はロシヤ娘の瞳の色だ。木々の梢を渡る風がいくらか秋らしくなつてくると戸外を散策する人々がめつきり多くなつて來る。

若いロシヤの娘達の中にはモスの日本着物を左前に打ち合はせたのや、素足に下駄をはいたのなどがゐて何となくほゝえまされる。

まだ明るい空に點火したばかりの電燈が淡く光つてどこかで乳牛の鳴聲がすると牛乳罐を下げたマダムが歸つて來、豚を追ふ滿人の小孩が家路にかへる。ギターのもれる窓邊では公休で新京の喫茶店から歸つて來たナターシヤを中心に數名の娘達がスクラム組んで歌つてゐる。時々大きな笑聲を立てたり、頬ぺたを指でつゝきつたりしてゐるのは、お客の噂でもしてゐるのであらう。

今頃はきつとポピアンツ爺さんの酒場では、逞しい勞働者が十錢玉をカチンとカウンターの大理石の上に投げ出して一パイのウオツカとパンの一片を頬張つてゐることだらう。

平和な喧騒をよそに先程からロシヤ墓地に跪いて盛んに十字を切つてゐる銀髪の老人と涙にくれてゐる乙女があつた。

「お爺さん、アレキセイは歸つてくるでせうか」老人は默つて顔を上げた。その眼にも涙が光つてゐた。

「あ奴は死んだんだ、あんな奴はキレイに忘れてくれ、あんな奴になるのなら、二十何年苦勞して育てるんじやなかつた。食ふや食はずの中から學校へも上げるんじやなかつた。」

老人の兄は元勇敢なロシヤ皇室騎兵隊の士官であつた。祖國の爲最後まで王城を死守し華々しく散つた勇士である。その後革命軍に追はれ追はれてハバロフスクへ、そして浦鹽にたどりついた時は一家は散り〲になり老人は兄の孫である當時乳呑子のアレキセイ一人だけを連れて滿洲に避難して來たのであつた。

老人は兄を、子を、妻を、家族を奪つたソビエートを心から憎んだ。それからアレキセイ只一人を自分の子として、杖とも柱ともたのんで成長を祈つた。

可愛いゝが故に老と貧と戰ひながら學校へも上げた、その學校が今では仇となり、ソビエートの教育を受けた子は、恐らく虐殺されたであらう父の生を信じ、憎むべき仇敵ソビエートを夢みながら去つて行つた。

老人は逃げた小鳥と、自分から何もかも奪ひ去るソビエートに對する激しい憤りを抑へ切れなかつた。

それにしてもあんな馬鹿者のアレキセイをいつまでも思つてゐてくれるワーリヤの心がいじらしくて仕方がなかつた。

木の枝にかゝつた半圓の月が倒れかゝつた十字架を、老人一家の墓標の上を斜に照してゐた。

「ワーリヤ、お前決してアレキセイの事など思ふでないぞ、あ奴の行先には銃口と鞭とが待つてゐるのだ、あ奴は恐らく生きてはゐまい」

教會の鐘がかすかな餘韻を殘して消えて行つた。どこかで地虫が鳴いてゐる。

平和な寛城子を、滿洲を捨てて行つた若者よ、お前の前途を暗示する樣に北の空はいやに暗い。

## ラヂオドラマ 想ひ起せ乃木將軍（1）

### 第一景 西那須野乃木將軍の閑居

靜かなる奏樂
突如勇壯なる進軍ラッパの響き
時は日露の風雲增々急なる明治三十七年開戰の直前で有ります

陸軍中將　乃木希典
夫人　靜子
石黒軍醫總監
伊地知少將
參謀　白井少佐
參謀　津野田少佐
武田憲兵中尉
上等兵　荒木
二等卒　村山
馬丁　三吉
外　兵士大勢
琵琶
解說
□奏樂

此日此の西那須野乃木邸附近に或る師團の演習が行はれました。其の夕暮一人の上等兵が丁度乃木邸の前を通りすがります。餘りに質素な其の住居に乃木邸と知らず垣根越しに見へる庭に佇ずんだ其の夫人が無論乃木夫人靜子の方と知らずに非常に氣安く話しかけるのでありました

□遠く牛の啼き聲
□小鳥の聲

上等兵　オイ婆さん、婆さん
靜子夫人　ハイハイ何で御座いますか
上等兵　オイ婆さんしばらく兵隊を休ませてくれんか
夫人　ハイハイどうかごゆつくり御休み下さいまし
上等兵　休ましてくれるか有難い頼んだぞ婆さん　オーイ集れッ
□七八人の兵士の烈しい足音
上等兵　オーイ皆な俺は今此の家の婆に命令をして皆を此の家でしばらく休ませてやる事とした　皆遠慮なくゆつくり休め
□一同爭つて門を入るが如き物音足音ワーッと云ふ聲
上等兵　オイッ　コラッ待て待て俺は上等兵だ俺が先に入る　皆靜かに入れッ　アア勞れたオイッ婆さん井戸があるなア皆顔でも洗へ
兵甲　上等兵殿
上等兵　何だッ
兵甲　上兵等殿今日は隨分勞れましたなア
上等兵　何だッ勞れたオイお前はどうだ
兵乙　勞れました
上等兵　お前は
兵丙　勞れました
上等兵　お前は
兵丁　勞れました
上等兵　お前は
兵戊　同じくであります
上等兵　馬鹿ッ此の位の事で皆な勞れてどうするだから今時の奴等は役に立たんのだ　俺達の若い時にや道の三十里や五十里驅足で行軍したもんだ
兵甲　上等兵殿ッ
上等兵　何だッ
兵甲　而し上等兵殿は今日は最早參つたと云つて先き道を這つておいでになりました
上等兵　何だ俺が道を這つた　何時だそれは
兵甲　さつき退却の時であります
上等兵　こらッ退却と大きな聲をするなオイッお前見て居たか
□ハハハッと言ふ一同の笑聲
靜子夫人　皆さん御苦勞樣で御座います丁度芋がふけてをりますのでどうか召上つて下さいまし　三吉さア早く
馬丁三吉　さア皆さん芋ださつきから支度をして待つて居ました
兵甲乙丙外一同聲々に芋だと先きを爭ふ
上等兵　こらッ待てッ待てッ　待たんか　氣をつけッ　あゝ驚いた　オイッ婆さん　俺は上等兵だ此の中で俺が一番偉いんだ　待てッ皆な　俺が先きに芋を取る
さテ皆な遠慮なく芋を取れッ
□芋だ芋だといふ一同の聲
上等兵　うん中々甘い芋だ　オイッ婆さんお前爺さんが居るんぢやろ　爺さんは何處へ行つたオイ婆さん
兵甲　上等兵殿
上等兵　何だッ
兵甲　爺さんは山へ柴刈りに行つたのであります
上等兵　うん山へ柴刈か
兵甲　昔から爺は山へ柴刈であります
上等兵　馬鹿ッ　オイッ婆さん爺さんは山へ柴刈に行つたのか
靜子夫人　さア何處へ參りましたか
上等兵　此の婆さん　いやに落ち付いて居るなア
□ハハハッと言ふ一同の笑聲
□奏樂　□牛の聲
將軍が歸つて來る　乃木

## 日本洋畫綜合展鑑賞

### 石井柏亭氏作「伊豆の海」（1）

池邊青李

一昨年の舊帝展改組以來新帝展に參加舊帝展派の反對に抗しよく在野美術家の爲に、粘り強く奮闘してゐる。二科を脱退したとは云へ作畫の方は益々圓熟を加へ、精進し續けてゐる樣はめざましいものがある。此の伊豆の海は今年六月の作であるから、實に近作であつて、氏の近業を知る爲にも我々は幸福である。例の氏一流の對照に忠實な親切な描法は、相變らず柏亭流であり、自然の美を素直に汲入れるものである。山並の美しさと水色つぽい六月の海は流暢まことにすら〱と描かれ、點在する船の形の失れ〲の面白さと近景の町の印象的な描寫はまことに手堅いもので、近來の佳作として推すに足るものである。

# 官場現形記（148）

李寶嘉作
大内隆雄譯

＝第十三回の四＝

胡統領は忽ち意氣揚々となつて言つた。

「本來そんな小醜どもは、何にもなりはせんのだ。土匪すら打ち得ないで、これで人間と言へるか。だがわしはひとつ大いに心配して居ることがある。それはわしが省にゐた時、しまつ中、中丞から聞いたものでつた。〃浙東の吏治はこれを浙西に比較すると、到底足許にもよれぬ。それはどういふわけかといふに、原因はひとつだ、浙東には江山船がある、全官員の大半は、これらの船の女たちに迷はされて、ために仕事をするのに甚だいい加減になつてしまつて居る。大淸律例に照せば、妓に狎れ酒を飲むものは、すなはち革職すべき事となつてゐるのだ。自分だけではすべてに手を廻すことも出來ぬ、何としても諸君の方で氣を付けて貰はねばならん、隨時に遍中を勸戒するやうに。若し事件を起したり、公事をやり損つたりしたら、その時となつては彈劾書は當然非同情的で、將來を無駄にし、また人に笑はれることとならう〃と言ふのだ。この話を、わしは傳へて置かなくてはならん」

言ひ終ると、じつと文の方を見据ゑてゐた。文は紅くなつたり、蒼くなつたり、甚だ不安を覺えざるを得なかつた。實と周とは統領のその話が自分を指してゐるのではない事を知つてはゐたが、しかし昨日はみな同じテーブルに着いてゐたのではあり、どうしても氣が咎めざるを得ず、しよんぼり默り込んで物も言へなかつたのであつた。

胡統領は暫らくだまつてゐたが、みんなが何にも言はないので、そのまゝ茶を注いで皆を送り出した。三人は船の甲板に出て一列に並び、統領が部屋を出て來ると、みんな腰をまげて挨拶をした。それから彼が中に這入るのを見送り、三人は自分たちの船に歸つて來た。

三人のうち、別の人間はまだ良かつた。文のみは、統領が桑を指しつゝ實は槐を罵つてゐることが判つた、これで胸にグンと來たのであつた。今も統領が出て來ても、まるで彼の方を見向きもしないのであつた。これがますます彼をやり切れなくした。自分の船に歸つて來ても鬱憤をはらす所がない。そこに一人の手下がゐた。從來は一歩も離れなかつたのだが、今や主人が親船の方に行つて統領と會つて居り、たぶん一時は歸つて來ぬものと思ひ自分は陸へ遊びに出掛けたのであつた。所が文が歸つて見ると、彼の姿が見えない。文は怒つて船の男を叱り付けた。そこに玉仙がやつて來て、何とか彼とか取りつくろつたので、やつとをさまつたのであつた。

暫らくしてその手下が歸つて來た。文はこの男をつかまへて教訓を與へやうと思つた手下の方が又、不服げに、口を尖らしてくどくどと文句を並べたのだつた。それを文が聞き付けた。一旦をさまつてゐた怒りが又爆發した。

「おれが今の職に就いてから相當いい仕事をやらせてあるそれを何だと思つてるんだ。仕事をするのが嫌ならさつさと荷物をまとめて歸つてしまへ」

外の仲間が、あやまれと勸めたが、手下は肯かない。

「勝手にしろ！」

さう言つて艫の方に行つてしまつた。文はまだ怒つてゐたがどうやら玉仙になだめられたのだつた。

（つゞく）

## 大德句會詠草

世は非常時である、人の世の道はなか〱に嶮しい、明窓の下、淨机によつて句案三昧の會興を樂しむのも無駄ではあるまいと、協和會大德分會診委部の一事業として大德句會を創設した。例會僅かに三回なれども、同人の熱意と精進は已にかくの如き成果を收めてゐる

◇

夏草の生へ廣ごりて空家有り　仁平
夏草の蔭となりたる山しるべ　同
向日葵や大空よぎる航空機　北牛
一面に夏草生へて人住めり　同
夏草の中に伸び行く新國都　太田
南嶺も夏草中となりにけり　同
向日葵の葉にとまりたる蜻蛉かな　二神
夏草や小さき家の道入口　村本
夏草や露破れし門構　野村
風樓に滿ちて涼しき夕立かな　渡刈
向日葵の塀より高き滿の家　藤井
夏草に砲彈跡も隱れけり　栗山
夏草に可愛き花の咲きゐたり　松葉
蚊の聲の地に匍ふ宵や蚊火烟　渡邊
夕映えし白塔の上に夏の草　二神
新らしき家なり向日葵のみ咲ける　三堅
二タ月に亘る看護の蚊やりかな　同
逆濤といふ大邸なり夏の草　同

## 新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲朝風（八月號）　南麻姑氏を中心として十七人の同人をあつめ新京で創刊された俳誌

星屑の海にふりてや夜光蟲　南麻姑
日の溫み殘るトマトをちぎりけり　安村冬女
高梁實る城外寂し夕燒に　霜天

等を紹介する（新京浪速町二丁目四ノ一、朝風社、非賣品）

健康と美に溢る、眼
明朗なる生活の表現
SMILE
SMILE
SMILE
SMILE
僕のマスコット！
貴方へのプレゼント！
強く明るい視力を培ふ眼科藥
スマイル
實務にも 趣味にも
運動にも…
強靱明澄な視力こそ近代生活の覇者です
眼は腦の窓＝人體最高の器管として絶えず清潔に保ち適度の休息と榮養を與へられなくてはなりません。然し現代人は文化の進展に伴ひ何かにつけ視力の過勞に陷り眼疾菌の侵襲に脅かされ勝ちです。
この矛盾を解決する途は？
優秀なる眼科藥の常備以外にありません。例へば——
結膜炎
所謂「はやり目」で、特殊の細菌、塵埃、強烈な光線等のために眼瞼が充血し、目の中がゴロゴロして、灼く様な痛みを覺え、眼しくて涙や眼脂が旺んに流れる様な時、眼を清潔にしてスマイルを一日數回點眼すれば、優秀な消炎殺菌、收斂作用を發揮し速かに輕快します。
角膜炎
外傷、結膜炎の悪化等に因って黒眼が濁り、ホシが出來、目が眩んで涙が止め度なく出る様な場合眼を安靜にし、罨法を施すと共にスマイルの點眼を繼續すれば、暫時にして輕快します。
トラホーム
學齢兒童間に蔓延し、文明國の恥辱と云はれる此の嫌ふべき傳染性眼疾も、早期に洗面器、手拭等の衛生に留意し、罨法とスマイルの點眼とを繰返せば卓効著るしく次第に恢復に向ふものです。
眼精疲勞
執務、讀書、映畫鑑賞等の後眼が疲れ易く思考力、記憶力が鈍つて神經衰弱様の症候に惱まれる方や老人で視力の弱つた方等は、日常臨時スマイルをお點しになれば視力が強まり心氣爽快を覺えます
スマイル
以上の他、多くの眼病を豫防治療すると同時に眼に榮養を與へて視力を強め、紫外線の害を防ぎ瞳を美化する作用を持つた、近代生活に適はしい高級眼科藥です！
◎容器の特長
……とその使用法
琥珀色の硬質ガラス瓶と銀色のキャップを持つスマイルの容器は堅牢て、而も瀟洒です！
親指と中指て輕く支へて、人差指で瓶底を輕打すると藥液が一滴宛快く眼に入るスマートな自働點眼式です！
【定價】二十五錢・四十五錢
全國藥店・百貨店藥品部にあり
總代理店 東京 大阪 玉置合名會社

# 秋氣、綠丘に漲り
## 絶景滿洲野に展く
### カメラマニアの夢に躍る
### 待望の淸遊行愈よ本日締切り

術の藝術家カメラマンを總動員し各自々慢の技術とレンズをもつて今しも訪れた綿繍の近郊、その秀麗な景勝をもつて知られる南嶺一帶の沈靜した秋色を探らんとする本社第一回主催新京寫眞機材料商組合後援のカメラハイキングは季節の初頭を飾る絶好の催として果然人氣沸騰、豫想外の申込者に當日の盛況の程が今より忍ばれる、既報の通りコースは南嶺戰跡より刀家山に至る間飽く迄遠い蒼穹を劃して涯ない褐土に散在する濃綠の森林をよぎり次いで俛家嶺よ

り張家店を走る平原に輕快なハイクを起せば綠野の盡くるところ幽玄な山々の稜線が悠久な秋の大氣の中に心にくきまでの沈殿美を描き一帶の遠望は一段と輝きを見せれば、伊通河の流れはこぼれる秋色を落して飽迄淸麗だ、時は惠まれて日曜日、而もカフエー銀パレスの奇麗どころを網羅した特別モデルの應持參加もあり、家族づれのハイカーにも打つてつけて催である、締切りはいよ〳〵迫つて本五日午後五時まで希望者は本社事業部（三―三八八〇）までこの期をのがさす至急申込まれるとよい

賞品の寄贈があつた

一等副賞　天津造白銅小手爐
二等副賞　北平造琺瑯灰落
三等副賞　宜興造紫泥燒土瓶
四等副賞　北平造橙畫
等外副賞　王道樂土人形

### カメラハイキングへ
### 大興公司から副賞寄贈

新京驛前大興公司滿洲土產品陳列所より本社主催のカメラハイキングへ副賞として左記

## 忠靈塔秋季例祭
### 社會係で御供物受付

新京忠靈塔の秋季例祭は思ひ出深き十八日同境內に於て最も盛大に擧行することゝなり既に着々準備を進めてゐるが秋季例祭も春季大祭と同樣全市民からの御供物を受付けることゝなり地方事務所社會係で便宜上これを取扱つてゐる決定した祭典次第は左の如くである

▲諸員着席（十八日午前八時五十五分）▲來賓着席▲軍司令官着席（八時五十八分）▲神官着席▲開式を宣す（九時）▲修祓▲降神▲獻饌▲祝詞奏上▲祭文奏上（祭典委員長、軍司令官）▲玉串奉奠▲撤饌▲昇神▲祭典委員長挨拶

## 石田父娘の念願に
## 同情金集る！
### 激勵の手紙と共に屆けらる

滿洲建國の人柱となつた護國勇士の英靈を慰める爲に三千枚の新聞記事切拔きでその壁面を飾る六角堂建立の念願を持ち遙々北海道の涯から國都新京に辿り着いた石田初吉老親娘の健氣な話が本紙によつて一度び報道せられるや、その熱烈な信仰心は日本人は元より滿洲國人の胸まで甚しく打ち、各方面から激勵、同情の手紙や寄附が續々と降りそゝいできた、即ち四日午前新京永昌路三〇二番地加々村留吉、同番地吉田輝野の兩氏が金五圓宛石田老の初志の貫徹を祈りハツエさんを慰める手紙と共に引地辯護士を通じて本社に屆けたのを始め無名氏により金二圓、一圓及び梅ケ枝町四丁目の馬子才さんが次の樣な手紙を同封金一圓の寄贈を申出た

四日付御紙朝刊に日本北海道の石田初吉樣が老いの身も顧ず護國の英靈を慰める佛堂建立の爲め來滿せられた記事を見て大變好い事だと思ひ、また私は滿洲國人ですが、今日を安らかに送つてゐるのは全く御國の忠勇なる將兵樣の御蔭と有難く思つてゐます、同封のお金は僅かで非常にお恥かしいと思ひますが佛堂建立の基金にお使ひ下さる樣御社から石田樣に渡して下さいませ（原文のまゝ）

## 匪團の暴行
### 討伐隊急追
### 續く

既報、一日小興隆を襲つた匪賊討伐に出動中の村上警佐からのその後の情報によれば、一味は二日午前二時ごろ陳家老屯陳毆（四三）方を襲つて金品强奪の上金村庫（二七）を射殺し自衞團長の長銃一挺强奪し長男金某及び金長奎（三六）成太平の三名を拉致して逃走した、なほ討伐隊は目下高粱畑の中で賊を包圍してゐると

## 駒井氏獻上の日本犬
## 〃軍用犬訓練を施す

駒井德三氏より滿洲國皇帝陛下に獻上の日本犬は獻上に先立ち四日午後一時より軍司令部に於て日本犬の軍用犬としての訓練を行つた、寫眞は駒井德三氏と獻上の日本犬

## 可憐な手で育まれた
## 實る秋の收穫
### 皆んな双手をあげて萬歲！
### 「室町校でも」八日に〝收穫祭〟

全校兒童に勤勞精神を養ひ、大地に親しましめるため室町小學校が校庭西隅樹林の中に設ける蔬菜園が初秋の風に漸く實り切つて來る八日（火）午前十時三十分から盛大な收穫祭が催されることとなつたうら〳〵と春陽を浴びて可憐なる手によつて播種してから早や半歲、蒔かれた

### 種は

さつま芋に枝豆だか、全校八百の生徒たちが各學級當番で暑熱のお天道樣にもめげずまめ〳〵しく肥料を施しその成熟を待つ氣持は〝早く芽を出せ柿の種〟と祈つた蟹の願ひに增して强いものがあつたのださやかた秋風にサラ〳〵と伸びた綠葉、大地深く實つた大きな生命、皆んな双手を擧げて萬才を叫ぶ日がいよ〳〵目の前に來たわけだ、農園收穫はお祭の前日七日（月）に全校兒童によつて甲斐々々しく行はれ穫物は洗つておく、かまどは高學年の手によつて樹林の中に五つ築かれ、低學年は午前中に高學年は午後、樂しい我等の實り、ホコ〳〵と

### 新鮮

なさつま芋が煮られお口に入るのであるがこれに先だつて當日午前八時十分朝會の際校長先生の收穫祭に就いてのお話があり終つて各學年代表者二名宛が神社に參拜、收穫物を奉獻することになつてゐる

## 傷病兵凱旋

五日午後三時四十分着京濱列車でハルビン衞戍病院に加療中の名譽の傷病兵三十八名着京、昨四日午後三時二十七分新站より着京の五名および新京衞戍病院の勇士十四名と合し四十七名が同午後四時發列車で大連經由故國に凱旋する

## 乾安縣城の死亡者
### 疑似ペストと判明

さる二十四日以來七名のペスト樣患者を出した乾安縣城東南十二支里部落へ調査に行つた哈拉海ペスト調査所の動物試驗の結果、いづれも疑似ペストと四日午前六時に決定した、なほ現在患者は三名あり隔離して治療中である

## 小柳新潟市長
### 韓市長に感謝狀

先般行はれた日滿學童交驩會は豫期以上の效果を擧げて終了し、渡日中であつた滿洲國學童代表も去る廿九日歸京したが、小柳新潟市長は日滿交驩會代表の名に於て韓市長宛て感謝狀を寄せて來た

## オリムピツク漕艇選手一行
### 五日朝着京

オリンピツク漕艇選手早大フオアー及び帝大エイトの一行は五日午前六時廿五分ハルビンより新京着の豫定である早大フオアー一行は即日あじあで離京、歸國の途に就くが帝大エイト一行は滿蒙旅館に一泊同夜賓宴樓に開かれる同窓會の歡迎宴に臨む筈

## 新京守備隊への慰問袋
## けふが締切り
### 至急最寄り區長宛屆けませう

僻遠の地に出動中の新京〇〇隊寬城子〇〇隊に對する全市民が感謝の迸りたる慰問袋はいろ〳〵のエピソートを包んで續々と各區長のもとに屆けられてゐるが締切はいよ〳〵五日限りである、なほお屆けなき向は至急にどし〳〵最寄りの區長の手元までお屆けが願ひたい、今まで數回言つたやうに內容は一圓程度でキヤラメル、チヨコレート類、罐詰類、風景でない繪葉書類が好適でその中に少年、少女の慰問文を同封すれば最も喜ばれる

## 日滿社會事業大會
## 盛況豫想さる
### 各方面代表者四百餘名參加

第三回日滿社會事業大會參加者名簿は各方面から續々到着し係員は宿舍割當に人知れぬ苦心をしてゐるが、遙かに日本からの參加者中には內務省神社局長飯沼哲二氏及社會局保護課長持永義夫氏、中央社會事業協會理事添田敬一郎氏、全日本私設社會事業聯盟理事長丸山鶴吉氏を始め各府縣からの官私社會事業代表者を網羅せる多數有力者を迎へる外關東州からは白石關東州廳內務部長、米內山民政署長、關東局から武部關東局總長、三浦行政課長、滿鐵からは宮澤地方部長、多田地方課長始め多數の參加あり、國內よりは各部大臣の列席を迎へ外國內各地より事業家篤志家の列席あり、名實共に日滿社會事業の名に相應しいものとなつた各地方からの參加者の內譯を示せば

日本一二〇、朝鮮六、關東州及關東局四〇、滿鐵四四、總局一〇、協和會一〇、以上二三〇、國內濱江省七、濱江省二、間島省二、錦州省二、安東省六、奉天省一二、熱河省七、吉林省七、哈爾濱特別市一七、以上三〇三、新京特別市七六、其の他合計三七九名である

## 領警、首都警察管下
## 秋季大掃除實施

新京總領事館警察署では來る二十一日から左記日割で秋季淸潔方法檢査を實施する、なほ首都警察廳でもこれに準じて同時に施行する

▲二十一日領警直轄、北門外各派出所管內▲二十二日新發屯南新京各派出所管內▲二十四日菊水町、義和路通化路各派出所▲二十五日南嶺、寬城子、窰門、長安各派出所管內

## 日滿兩首都の友誼結ぶ
## 文化博の期待大
### 東京側は俄然乘氣

本年六月國都建設五ケ年計畫が一段落着くと同時に新京特別市と東京市の二大國都が相結び記念祝賀會或は文化博覽會を開催し將來益々友誼交驩を續ける計畫は兩國都市民は勿論關係者一同から多大な期待を持つてその實現を待たれてゐる、さきに內地視察中の植田新京特別市總務處長が東京市當局を訪問せる際にも此の點に就いて特に力說せるところあり植田處長の歸京を待つて特別市の態度も決定せられるものと見られてゐるが、東京市では新京特別市の申出があれば何時でもそれに應ずる準備はあるとの事で、たゞ懸念せられるのは特別市の財源如何の問題である、事實上斡旋機關たる東京市產業調查局新京出張所では所長町田克己氏が這般の事情報告打合せのためさる二十八日新京發二週間の豫定で東上中であるが植田處長とともにその歸京を待たれてゐる

## 田尻代理
### 軍司令部、大使館訪問

事務打合せの爲め四日午前九時來京した田尻天津總領事代理は午前十一時軍司令部を訪問、植田軍司令官に挨拶の後大使館當局と事務打合せを爲した氏は五日午後八時新京發大連經由歸任の筈

## 新京救世軍例會

救世軍新京支部では六日（日曜日）左記の如く禮會を施行

## 協和會新京居留民會分會
### 八日結團式

結成準備中の協和會新京居留民分會は愈よ來る八日午後一時より新京總領事館構內に於て結團式を擧行することゝなつた

## 科學審議委員會
## 國務院で開催
### 斯界の權威集めけふ十時から

國務院總理大臣を會長に戴き滿洲國國運の進展と國民生活の福利增進に資すべき科學的諸問題を審議統制する第二回科學審議委員會はいよ〳〵本日午前十時より國務院會議室に於いて開催される、既報の如く同委員會には大陸科學院顧問たる理化學研究所長大河內正敏博士並びに東大名譽敎授鈴木梅太郞博士をはじめ藤澤威雄、志方益三、齋藤道雄辻二郎、吉村恂、有馬純三、井上兼雄等の諸氏が出席し大陸科學院をはじめ各部局より提出された議題を審議するものである

聖別會午前十時「信實は救にあらず」名越大尉
救靈會午後七時半「重大問題とは何ぞや」石田特務

一般の來聽を歡迎する

## 長通路警察署
## 落成式擧行

新京特別市永長路と長通路の交叉點に首都警察廳で建築中の長通路警察署廳舍が完成したので來る八日午後三時落成式を擧行する

## 黑川奉每支局長
### 結婚式

奉天每日新聞新京支局長黑川保男氏は今回松浦朗、寺澤豐兩氏夫妻の媒妁により阪野房枝孃と婚約整ひ八日午後四時から新京神社に於て結婚式を擧行午後六時から賓宴樓で披露宴を催す

## 滿洲統計協會
### 「滿洲統計月報」を發刊

滿洲統計協會では豫て機關雜誌として日滿兩文による「滿洲統計」を刊行してゐたが、今回同法の日文を廢し專ら「統計思想の普及」に中心を置く滿文專門のものとし、同時に新たに「滿洲統計月報」を發刊し滿洲各種經濟統計並に統計速報を集錄發表する事となつた、尙日文による統計學理に關する資料としては別に「滿洲統計協會學報」を年二回發行する由である

## 馬車內の忘れ物

▲八月二十四日ハンカチ包一ケ（滿人ズボン一靴下一足）大經路警察署保管▲黑折鞄一ケ（見積書類）同▲二十六日東三條通りより大同廣場まで風呂敷包一ケ（扇子三本）同▲吉野町より西大營まで（雨合羽一着）同▲二十六日（フトン一枚）同▲三十日新發屯より競馬場まで（ノート）同▲三十一日緣紙包一ケ（奉公袋シヤヲ靴下洗面器等）同▲北大街より南嶺迄袴一着同▲毛呢馬褂一着（小孩服一着）同▲九月一日（割烹前掛海苔一枚）同

## ダーソンルイ

▼緖苗代新京署長とは此程視察傍々二三日ハルビンに淸遊して來たがその土產話にハルビンに比べると新京と異つて今でも裸が見られるほどだからカフエーあたりの取締りもいゝ加減なものだらうネ▲交通整理はハルビンの方が上手にいつてゐる……水のない新京から行けば松花江は實にいゝ川だ、丁度月夜の晩に舟を浮べて一杯やつたがネ實によかつた▼將來は立派な國際的名勝地になるよと、褒めたりくさしたりこわいおぢさんの淸遊は全く油斷がならん

# 妖魔往來
(續上映上演)
桃川燕二演
内山鉦太郎速記

四二

うまく〳〵と、德藏を欺し終へ、膜の中で、舌をぺろりと出した。
お艶は、つゞけて、
『德藏、ぢやあ私は其積りで事を取計らふから、お前も又辛棒が肝腎だよ、何うか私の目に餘るやうな事があれば今の話は取消して了ふ、幾ら旦那樣の御約束でも不身持な者はお志津の婿にすることは出來ぬから』
『何何にも承知仕りました、必ず不身持などにはなりません』
『其言葉に違ひなければ私も安心して事が出來る』
『何分お願ひ申します』
計られるとは露知らぬ番頭德藏はお艶と約束をした。
お志津は田原屋小町と唄はれて居る別嬪、片つ方は饂飩に掛けては巧者だが羽黒の田舎娘の婿が彼是話しをしたつて分るもんぢやない朝晩二人切りでゐるのだからどんな相談をしたかも知れない、それに德藏は旦那の眞正の甥だから大概な事は見ても見ぬ振をなさらうと云ふものだ』
『然う云へば叔母さん德藏さんは、此二三日大層突慳貪になつて滅々私に口も利きません』
『それだよ、だから氣懸りしなくてはならぬと云ふのだよ、私だつておまへは血を分けた姪、同じ事なら此處の家の暖簾を分ける人の所へ遣つときたいぢやあないか何でも彼でも德藏を娶しちやならないよ』
『私も然う思つて一生懸命になつてゐるのでございますが、此上叔母さん何うしたものでございませう』と相談した。
お艶は眞面目な顔をして

けない。
『飛んだ事をした、何うかお艶との關係が御内儀さんの耳に這入らないで呉れば宜い』
其處へお艶が
『御内儀さんの御用だ、土藏の二階まで』
『うむ、いや今手が離かつて居る、竹松おまへ行つて來な』
『竹松さんぢや用が足りないのだよ、德藏さん鳥渡で宜いから手を貸してお呉れ』
『手が離かつて居るから後で來い』
お艶を一食だと思つてゐる、こんな按配式で一夜の内に德藏の仕打がガラリ變つて了つた、是りや變だなと思つてゐる所へお艶が、
『お艶やお前餘程氣懸かりしなくてはならぬよ、何うも此頃からお志津と變だと思つてゐたが、毎日の樣うに旦那の足腰を擦らせるのは德藏々々と云つて病室へばかり呼付けて置く、彼處には何時もお志津と旦那ばかり、旦那は病みほけて捨てばかりゐなさる、何んな

『然うだねえ、それでお前は德藏に眞底から打込んでゐるのかえ』
『オホヽ、叔母さん彼んな事云つて』
『それを聞かなければ工夫がつかないよ、此男の爲なら命もいらない、義理も糸瓜もあつたものぢやない、親を捨て兄弟を捨て、場合に依つては人を殺す樣な事があるが夫丈けの思ひ詰めたのでなくては事は成就する筈がない』
『ヘエ親を捨て義理を捨て場合に依つては人殺も……エ、私だつて德藏さんの爲なら隨分何でもやり兼ねませんよ』
『夫丈の決心があるなれば何うでも工夫が就くぢやないか、お前相手はかよわい女の事で……尤もお前だつて女だが隨分一人くらゐ何うでも出來ない事はあるまい』
『だつて叔母さん外の家の女なら只は置きませんが叔母さんの姪であつて見れば何うする事も出來ないぢやアありませんか』
『そこだよ』
と、お艶は、焚きつける。